

Qandahār¹

カンダハル紀行

第一回

[1936.12.9~1937.2.13]

¹ 尾崎は Kandahār とも表記している。

12月9日 (qaus月 17日)

朝「ゼララバッド²」の「ボーグシャイー³」ヨリ助手ヲ引連レ柑橘ノ採集ニ出掛ケントセル時、ゼララバッド農務局ヨリ呼出シアリ。出頭セル処商務省ヨリ電話ニテ直チニ「カブール」ニ帰り「カンダハル」ニ行クベシトノ命アリタル旨伝達サル。

12月10日 (qaus月 18日)

カブールニ帰ル。

12月12日 (qaus月 20日)

商務省ニ出頭次官及農務局長ニ会フ。
農学校長モハマッド・ユーソフ氏及農業技師ヌール・モハマッド氏ト助手一人計三人ニテカンダハルニ行キ棉ニ関スル調査ヲナスベク命ゼラル。

12月14日 (qaus月 22日)

大臣ニ会フ。

12月20日 (qaus月 28日)

今朝9時商務省集合出発ノ通知ヲ昨日受ケタルヲ以テ正9時ニ出頭誰モ居ラズ10時頃顔ガ揃フ自動車ノ手配出来ズ、一週間後ノ日曜日ニ出発ノコトトナル。始メ乗用車ノ予定ナリシモアフガンノ二人ガ各々ボーイヲ連行スルタメ6人トナリ乗用車ニ乗ルコトガ出来ズ郵便車ニ依ルコトトナリシガ郵便車ハ毎週一回便ニシテ今日ガ出発日ナリ(毎回日曜)然シテ今日ノ便ハ既ニ出発後ナリシヲ以テ次週ノ便ヲ待ツコトトナレリ。

12月27日 (jaddi月 6日)

² 「ジャララバード」のことと思われる。

³ 「ボーグ・シャーヒー」のことと思われる。

今朝9時出発ノ予定ナリト昨日聞カサレタルヲ以テ早朝ヨリ用意シテ待ツ。シカシ自動車ナカナカ来ラズ。

昨日ハナハバッドヨリ帰来シテ修理ニ手間取りタル由ニテ三時ヨウヤクニシテ来ル。

三日前ヨリノ雪ニテ果シテ行ケルヤ否ヤ危ブミタルモロ**ガール**⁴經由ニテ行クコトナレリ。**カブール**ヨリ進ムニ従ヒ雪ノ量多クナルモ一寸位ノ深サナリ。**バラキバラク**ニ泊ス。

3.15	Kābul 発	5.30	Mohammad Agha
4.50	Chahār Asyāb	6.10	Barakī Barak

バラキバラクハ店モナキ程度ノ宿場ニシテ泊ル処モナク 10 人位ノ人ガ小サイ部屋ニ雑魚寝スル。入口ハ二重ニナリテ内外ノ空気ヲ遮断ス。一間半×二間位ノ部屋ナリ。中央ニ「**ボハリ**⁵」アリ。室内ハ一尺四角位ノ硝子窓アルノミニテ光條ハ全ク来ラズ。眼ノ青イ、髯ノ赤イ、顔形ハ支那人ニ近カイ店主ガ居ル。之レハ宿屋デア。夕食ニハ茶ト、羊肉ヲ煮タモノデア。室内ハムットシテ気持悪イ位ナリ。10 時ニ寝ニ付ク。尚今日ノ相客ハ我々四人ト農学校長及**ヌウル**⁶氏ノボーイ及軍人ト其ノ召使及老人 9 人ナリ。

12 月 28 日 (jaddī 月 7 日)

午前八時**バラキバラク**ヲ出発ス。

8.10 **バラキバラク**

9.10 **セハバッド**⁷

9.30 **サイドバッド** Seyyedābād

11.30 **ガズニー**⁸ Ghaznī

ガズニーニ向フニ従ヒ雪愈々深クナル。

1.00 **ガズニー**発。

2.10 「**ムシャキー**」カラ半哩位ノ手前ニテ自動車転覆ス。道ハ平坦ニシテ転覆スルヨウナ処デハナイ。全ク運転手ノ不注意デア。旧イ車ノ跡ヘ急スピードデ飛ビ込ンダノデ自動車ガハネ上リ

4 「**ロウガル**」のことと思われる。

5 ストーブの意味。

6 「**ヌール**」氏のことと思われる。

7 「**シェイハーバッド**」のことと思われる。

8 「**ガズニー**」のことと思われる。

右側ノ排水溝ニ落ち更ニ前進シタノデ中心ヲ失ッテ横ニ自分ノ坐ッテ居ル方ヘ倒レタ。

農学校長ハ相当ノ「カスリ」傷デアッタガ他ハ軽少ノ打撲デスンダ。農学校長ハ自動車ノ前方（運転手ノ横）ニ居タノデ傷ガ多カッタ。自分ハ後ノ運転手台ニ近イ処ニ居ッタノデ其ノ難ハ免レタガ外套ハ裂ケ魔法瓶ヲ壊シタ。自分ノ上ニハ「ヌール」氏ガ被ブサル様ニ落ちタ。

一同カヲ合セテ自動車ヲ起シタ。

4時準備出来出發ス。

此ノ一事件デ「アフガン」中上級ノ人ノ「インテリゲンチャ」ノ氣質ヲ知ルコトガ出来タ。

転覆スルト「ヌール」氏ハ我先ニト他人ヲ踏台ニシテ出テシマッタ。ソシテ誰レモ人ノコトハ心配セズニ自分ノ仕末バカリシテ居ル。ソシテ自動車ヲ起ス時ニハ乗合セテ居タ「ガズニー」ノ郵便局員（之レハ一寸カスリ傷ハアッタガ大イシタコトハナイ）ハ次ノ宿場ニ引き上ゲテ居ラズ。

「ヌール」氏ハ只人ヲ指図スルノミニテ少シモカヲ貸サナイ。僕デサヘカヲ貸シテ居ルノニ此ノ状態デアル。

ソシテ愈々自動車ガ起キテ運転手ガ修理ヲ始メルト自分ノ荷物丈持ッテ「ヌール」氏ハ独リデ「ユーソフ」氏ノ引き揚ゲタ処ヘ行ッテシマッタ。僕ニモ一言ノ言葉モカケズニ。外ハ風ガ吹イテ寒イノニ他ノ人ニハ一言ノ言葉モ掛ケズニ。

4.00 修理ナツテ出發ス。

7.15 「モコール⁹」ニ到着ス。泊ル。

彼等二人ノ自分勝手ハ此処デモ初マル。最モ暖カイ良イ場所ニサッサト自分ノ寝台ヲ拵ゲテ仕舞フ。

此ノ宿ハ昨夜ノ宿ヨリ間広ク同行ノ軍人ヲ除キ運転手モーケ所ニ寝ル。室ハ片隅ニ深サ二尺位ノ爐ヲ掘リ其ノ中ニテ火ヲ焚キ其ノ煙ハ床下ヲ廻ル様ニナツテ居ル

即チ温突トナツテ居ル。10時就寝。

ガズニーモコール間ノ自動車内ノ寒カッタコトハ此ノ上ナシ。感覺ヲ殆^{オンドル}[ド]失フホドデアッタ。

⁹ 「モゴル」のことと思われる。

12月29日 (jaddī 月 8日)

7時起床温内¹⁰ハ暖カキモ室外ハ非常ニ寒イ。恐ラク零下10℃位デアロー。

「ガヅニー」カラ出テ「ムシャキ」ニ来ルト雪ガ消テ居ッタガ其処ヲ過ギルト又雪ガ多クナリ、「モコール」デハ処々ニ残雪ヲ見ルノミデア。此ノ町ハ新築ノ町デ別ニ見ルモノモナニモナイ。兵營ガアルラシイ。又「ホテル」モアル由デア。

油ヲ補給シテ10時25分ニ出發ス。

12.00 Sha-jūy¹¹ニ着ク。此処カラ宿場ニハ方向ト次ノ宿場迄ノ程ヲ書イタ指標ガ建デア。此処ハ全クナニモナキ村ナリ。「カラート」マデ72軒アリ。

茲処ヨリ Kalāt マデノ間坦々タル平均ヲ行ク其ノ道ハ大部分川ノ右岸ニアリ。然シテ処々 almond ノ園アリ。雪モアツタリ、ナカッタリ。山ニハ皆麓マデ雪アリ。

2時15分Kalātニ着ク。昼食ヲ取ル。此処ハ可成[リ]大キナ新築ノ町ナリ。中央ニ主幹路アリテ「キ」字形ニ町ガ出来テ居ル。Kandahalニ向ッテ右手ノ小高イ処ニ「バラヒサール」アリ。「ホテル」アル由。洋風ノ建物モ二三アリ。3時20分出發次ノ宿場Jaldakマデ25.650kmアリ。此ノ辺ヨリ雪ハ全クナクナリ山ニモ殆ンドナシ。4時10分Jaldak通過Qandahār迄110.319kmナリ。坦々タル途ヲ行クコト3時間四ツノサライ(宿場)ヲ過ギ7時10分Mohmandノサライ(宿場)ニ取り掛カル¹²間近カニテ自動車新シク修理シテ地盤ノ軟弱ナ場所ニ走り込ミ再度転伏ヲナス。此ノ度ハ誰モ怪我人ナシ。只運転手ノ助手ガ足ヲ打ッタ様デア。此ノ度モ自動車ハ右側ニ転伏ス。自分ノ上ニ反対側ノ人モ荷物モスベテ覆ヒ被ブサル。逃ル人ハ相変ラズ下ノ人ヲ踏台ニシテ顔ト云ハズ、胸ト云ハズ踏ミ付ケテ出テ行ク。此度ハ自分ハ胸ト顔ニ相当ノ打身ヲ受ケタ。一寸自動車カラ自力デハ出ラレナカッタ。デモスグ恢復ス。

自動車モ30分位デ起シ正道ニナッテ7時40分出發ス。

「カンダハール」迄同乗ノ軍人ガ運転シテ来ル。

「カンダハール」市ノ入口ニテニツ向フノ「サライ」デ乗ッタ客ヲ下ロス。客ノ一人金ナク首ニ廻イタ布ヲ運転手ニ質ニ入レテ行ク。此ノ国ノ人ノ無深慮無計画、行き当リバツタリ後ハドウニデモナルト万事ヲ取運

¹⁰ 「室内」の誤記と思われる。

¹¹ Shah-jūy のことと思われる。

¹² 「通過する」のことかと思われる。

ンデ行く氣質ヲ良ク表シテ居ル。

10時「**カンダハール**」着ク。

政府ノ「ホテル」ヲ各所探シ求メテ30分ノ後漸ク探シ求ム。

茲々ニテモ彼等ノ勝手ガ始マル。

此ノ「ホテル」ハ新築ニシテ未ダ準備整ハズ。利用シ得ル室ハ一室アルノミナリ。其ノ室ヲ彼二人ト其ノ「ボーイ」ガ占メ僕ト**サイドグル**ニハ敷物モ「テーブル」モナイ。只寝台アルノミ（之レモ寝具ハナシ）ノ室ニ入レテ仕舞フ。彼等ノ勝手ナル様ハ言語ニ絶スルノデアアル。此レハ怒ッテ

見テモ仕方ノナイコトデアアル。総テヲ自分本意ニ考ヘル此ノ国デハ弱肉強食デアッテ不道德トハ思ッテ居ラヌカラデアアル。利害関係ノナイ人ハドンナ人デモ決シテ尊敬シナイ。総テガ自己本位デアアル。人トノ調和ガ決シテ根本的ニ出来ル国民デハナイ。一方デハ相手ヲ称ヘナガラ他方デハ引ッパタク国民デアアル。斯カル国民ニドレ丈ノ發展ガ望マレルデアロー。此ノ度ノ旅行デ「**カブール**」出發ニ際シテモ前ノ良イ席ハ農学校長ト軍人デ占メテシマッタ。

コレガ外人ヲ待遇スル所以デアローカ。

^{ヒトマズ}先荷物ヲ「**カンダハール**」ホテルニ降ロシ「**サイドグル**」ト二人デ池本¹³様ノ御住居ヲ探ス。然シ遂ニ探シ当テズ夜11時ホテルニ帰り寝ニ付ク。

12月30日（jaddī月9日）

10時朝食ヲトル。8時朝食ヲ頼ミタルニ「ホテル」ノボーイ不注意ニテ隣室ノ農学校長及技師ノ処ニ持ッテ行キ斯ク^{オソ}晩クナル。ホテルニハ独乙ノ鉦山技師モ来テ居ル。彼ハ一週間前ノ郵便自動車ニテ来タル由ナリ。慶應ノ武田¹⁴君モ一緒ナリシ由ナリ。

彼等ノ自動車デハ一人轢殺サレタル由ナリ。阪途ニテ

自動車逆行シ始メタノデ皆飛ビ降リタルニ其ノ際一人車ノ下ニ転ゲ込ミ事故ヲ起セル由ナリ。

食事ヲ済シ池本様ノ家ヲ探ス。コンドハ容易ニ探シ当テタリ。

平屋建ノ四角ナ家デ夏ノ暑ヲ避ケルタメ地下室アリ。

藤芳¹⁵様モ同一建物内ニ住ンデ居ラレル。此处ニ泊テ貰フコトニスル。

農学校長トヌール氏ハ朝カラ知事ヲ訪問ニ出掛ケル。

¹³ 池本泰兒氏。

¹⁴ 不祥

¹⁵ 藤芳義男氏。

仕事手配ノ一切ハ彼等ニ任セテ良キ様ニシテ貰フノ外ハナイ。
此ノ国ノ事情ハ全ク神秘デアッテ我々ノ想像モ出来ナイコトデアル。斯
スル外ハナイ。
午後バザーヲ一巡スル。「サイドグル」モ池本様ノ一室ヲ借りテ泊ラセ
テ貰フ。彼ノ為メニ一日一 afghani ヲ与ヘル。
夜ハ池本様ト歓談スル。
今池本様モ製図ニ御多忙ナリ。

12月31日 (jaddī 月 10日)

午前 10 時半鈴子ニ手紙ヲ出ス。郵便局ハ州政府ノ西側ニアリ。建物ハ
立派ナ堂々タルモノナルモ郵便ヲ受ケ付ケル処ハテーブルニ事務
員一人ナリ。郵税 30 pul¹⁶、50 pulヲ出シタル処 15 pulノ釣銭ニテ 5 pul
誤間カセリ¹⁷。

池本様ニ聞ケバ「カブール」カラ打タレタル電報ハ到着セヌ由ナリ。又
相沢¹⁸様ノ手紙モ届カヌ由ナリ。

農務課ニ行ク。此処ノ「モディール¹⁹」ハ農学校出ニシテサイドグルヤ、
ユーソフ、ラシッド、等ト同級生ナル由ナリ。

農学校出他ニ一人アリ、事務員全部デ 6 人位アリ。

11 時ユーソフ氏及ヌール氏ヲ訪レル。両氏トモ政府ノ中ノ一室ヲ貰ヒ其
ノ中ニ住フ。ナカナカ奇麗ナ建物ナリ。ホテル等ノ及ビモツカヌ処ナリ。
美シキ絨毯、洗面所等備ハレリ。1 月 2 日ノ 11 時頃知事ニ会フ予定ナリ
ト聞カサル。仕事ノ予定ハ未ダ不明ナリ。1 時迄「サイドグル」ト市内
ヲ廻ッテ帰ル。郊外ニハ畑アリ。チシャ²⁰、ホーレンソー、ガンダナガ
盛ナリ。

八百屋ニハチシャ、ホーレン草、タマネギノ若イ葉茎、人参（赤黒イモ
ノト黄色[イ]モノ）、大根、玉葱、ニンニク、ガンダナ²¹等アリ。

途中ニテ落花生ヲ見付ケ購入スル。3 ホルト 90 pul ナリ。之レハ種子用
トシテ購入セルモノナリ。

西側ノ門ノ処ニ道シルベアリ。

16 貨幣の単位。1 プール(pul / pūl)=1/100 アフガニー。(尾崎農業)

17 「誤魔カセリ」のことと思われる。

18 相澤洲ニ氏。

19 「課長」の意味。

20 レタスのこと。

21 ニラのこと。(アーセフィ)

km	m		
14	— 000	Arghandāb	— Qandahār
70	— 900	Keshkenakhod	— Arghandāb
43	— 796	Yakh-chāl	— Keshkenakhod
9	— 903	Helmand	— Yakh-chāl
2	— 800	Gereshk	— Helmand
125	— 200	Del Ārām	— Gereshk
48	— 000	Bakvā	— Del Ārām
85	— 200	Farāh	— Bakva
		Sabzvār	— Farāh
		Herāt	— Sabzvār

農務課長ノ談（カンダハル政庁ノ）

綿ノ品種	tāqūtā	高サ 50—60cm 包莖ハ黄色
播種	hamal 月（三下—四上中）	
収穫	meizān 月 - sunbula 月（八下—十上中）	
収量	1 ゼリーブ当	
	上田ニテ実棉	1 kharwār ²² (1244 lbs)
価格	実棉	1 sēr ²³ = 6-8 アフガニー
	繰棉	上 13 アフガニー
		下 8-9 アフガニー
肥培	肥料ハナシ	
地価	良田 2,000af ²⁴	中田 1,500af

²² 重量の単位。1 ハルワール(kharwār)・カンダハール=420 キログラム。(尾崎農業)

²³ 重量の単位。1 セール(sēr)・カンダハール=109 グラム 375。(尾崎農業)

²⁴ 貨幣の単位。af.=afghānī。「アフガニスタンにおける貨幣は銀貨本位制であつて、現行貨幣の銀純分はこれを 900 とし、その 10 グラムをもって 1 アフガニー (afghānī) と定められている。」(尾崎農業)

1937年

1月1日 (jaddī 月 11日) jom'a

今日ハ jom'a デ日本ノ元旦、シカシ旅ニ居テハ祝フコトモ出来ナイ、一日中棉ノ本ヲ調ベル。池本様モ復命書ヲ書カレル。家族トモ別レ全クーボッチノ正月ハ未ダ嘗テナイコトデアル。全ク正月ラシクモナイ。日本デハ否カブールデモオ祝ガアルダローニト淋シク思フ。

1月2日 (jaddī 月 12日)

午前11時知事 Sadar Mohammad Daud Khan ニ面接スルコトトナリ居リ10時半州政庁ノ謁見室ノ一部ニ仮宿中ノ Yousof 氏及 Nur 氏ヲ訪ネル。然シ都合ニテ今日ハ面接出来ヌ由ニテトランプヲ行フ。昼食ハ此処ニテ呼レル。

1月3日 (jaddī 月 13日)

午前11時半知事舎宅ニテ知事ニ面接ス。
若手ノ好漢ナリ。口ノ締レル、キリットシタ将来此ノ国ヲ負フベキ人ナリト思ハセラル。言葉モ丁寧ニシテ決シテ意張レル²⁵処ナシ。巡廻スベキ場所ノ指定ヲ受ク。5ヶ所位ナリ。然シ充分ニ知ルヲ得ザリキ。又視察ノ目的モ充分ニ知ルヲ得ズ。池本様モ設計完了シテ知事ノ処へ持参説明セラル。

夜ハユーソフ氏及ヌール氏ノ処へ遊ビニ行ク。同氏等ノ二人ノ知人モアリ。トランプ遊ビヲスル。

昨日9時出発ノ知ラセヲ同氏等ヨリ受ケル。

「**カンダハール**」ニハ良キ乾果会社アリ。政府ノ別動体デアル。

Sherkat-e Pashtūn-e Limitid Qandahār (Pushtun & Co. Ltd.)

ābjūsh²⁶, keshmesh、等ノ他アリ。何レモ美シキ一封入ノ紙包入り。何レモ 1lbs (443½g)一箱 1 af 50 pulナリ。

青イ乾葡萄ハ洵ニ美シク奇麗ナリ。ābjūsh ハ塵ノ附着多ク洵ニ汚ナラシイ。

²⁵ 「威張レル」のこと。

²⁶ p. 304 参照。ブドウの名前と思われる。

1月4日 (jaddī 月 14日) (Qandahar→Gereshk)

午前9時ギリシュクへ向ケ出發ノ予定ナリシモ自動車ノ用意出来ズ1時半漸ク出發ス。「ローリー」ニシテ運転手台ニ「ユーソフ」及「ヌール」ノ両氏、座ル。自分ト「サイドグル」ト両氏ノ「ボーイ」ト四人ハ車ノ後ニ座ル。腰掛モナニモナシ。此ノ自動車ハ専用ニ政府ヨリ与ヘラレタルモノナリ。視察中我々ト行ヲ共ニスルモノナリ。

全ク坦々平原ニシテ処々ニ畑ヲ見ル。

カンダハル近クハ葡萄園アリ。葡萄ハ高畦ヲ作り蔓ハ土中ニ埋メラレタルガ如ク見ユル。

麦ハ布²⁷5米位デ長イ畦ヲ作り其ノ一側ニ溝ヲ他ハ平ニシテ其レニ麦ヲ撒播セリ。

4時キシユクナホットニ着ク。単ニーツノ宿場アルノミナリ。又坦々タル平原ヲ進ム。道ノ悪イコト此ノ上ナシ。砂漠ノ中ニ二本ノ溝ヲ作り其ノ間ヲ少シ平ニシテ道ニセルモノナリ。サレバ道ガ悪クナレバ自動車ハドンドン道ノ外ヲ出テ走ル故ニ

何処ガ道ダカ不明ナリ。陸軍大佐ガ欧州カラ帰朝ノ時新ニ作レルモノナリトテ旧道ト平行シテ新道アリ。シカシ殆ンド使用セズ。勿体ナイコトナリ。

「ヘルマンド」河ハ船橋ナリ。此ノ自動車ノ渡河賃 20 af ナリ。

7時ギリシュクニ着ク。

ギリシュクニハ政府ノ「ホテル」アリ。大間（八間ニ四間位）一ツト小間（一間ニ四間位）トアリ。他ニハ設備ノナイ洗面所アルノミ。大室ニハ「ダンロ」ノ設備アリ。壁ハ白ク塗ル。寝具ノナイ寝台五個アリ。テーブル三ツ、椅子数ヶアリ。

例ニヨリ良イ場所ハ二人ノ人ガトリ自分ハ余リ場所デアル。今夜ハ寒シ。火ヲ焚ク。

ギリシュクノ街ニハ「ガスランプ」ヲツケテ居リ夜モナカナカ明ルイ。今日ハ車ノ都合甚ダ良シ。

1月5日 (jaddī 月 15日) se-shanbe (Gereshk)

午前 11 時町長ニ会ヒニ行ク。役所ノ庭ノ暖イ処ニ机一ツヲ出シテ事務ヲトッテ居ル。側ニハ兵隊二名アリ。

²⁷ 「巾」の誤記かと思われる。

昼食後池本様設計ニナル水路ノ予定地附近ノ田ヲ見ニユク。

「ヘルマンド」橋ヨリ見始メル。ヘルマンド橋ハ目下ハ船橋ナルモ煉瓦ノ橋ガギリシュクノ方カラ建設中ナリ。

1. 橋 —— 河原ヲ横切り耕地ニ出ル迄。

一般ニ砂地ナリ。処々ニ礫アリ。アルカリーヲ可成[リ]含ム。水分ハ可成アリ。洪水サヘナケレバ落花生、甘藷ヲ作り得ベシ。又豌豆モ作り得ベシ。

耕地ハ一米位上ツタ処ニアル。耕地ト河原ノ境ヒスル処ニ水ノ緩流地帯アリ。水稻ヲ作ル表土ハ甚ダ浅シ。

2. 耕地ヨリ —— ハシム・ジャン・モハマッド²⁸

ムステ・アフタル・モハマッド

ハン・モハマッド

粘質壤土ニシテハン・モハマッドニ近ヅクニ従ヒ

粘土トナリ地味悪クナル。

地下水高ク半米位ニテ水ヲ見ル。15 日前ノ雨ナリシモ今デモ相当湿ッテ居ル。

ハン・モハマッド (チャーハンダー) ニ近ヅクニ従ヒ荒地トナリ、作物ナシ。

3. ハン・モハマッド —— スルタン・モハマッド (カント)

大体ニ粘質壤土ニテ地下水高キコト前同様ナリ。

「スルタン・モハマッド」ニ近ヅクニ従ヒ湿地トナル。

4. スルタン・モハマッド —— ヘル、アフタル・モハマッド

此ノ間ハ全ク低湿地ナリ。此ノ大サ 300-400 町歩アリ。

5. ヘル、アフタル・モハマッド —— ハナー・マダニー (杭番号 70)

次第ニ高クナリ耕地ヲ見ル。割合ニ良好ナル土地ナリ。

概評

土地ハ clayish soil ニシテ地下水高ク棉作ニ完全ナル土地ト云フヲ得ズ。現在耕作シツツアル土地ニ一割位ハ耕地ヲ増シ得ベキモ増加シ得ベキ土地ハアマリ良好ナラズ。利用シ得ル大部分ハ既ニ利用シアリ。

ギリシュク附近ノ農業

小麦、大麦、玉蜀黍ルシカ²⁹ヲ主作トス。水稻モ作ル。

²⁸ 助手の名前。

²⁹ 意味不明。

小麦 meizān 月、‘aqrab 月、qaus 月及 hamal 月ニ種子ヲ播キ jauzā 月ニ収穫スル。

大麦 ‘aqrab 月、qaus 月、jaddī 月ニ播種シ小麦ヨリ 20 日位前ニ収穫スル。

気候

冬ハ氷ヲ張り霜ヲ見ル。然シ金盞花等青キ俣アリ。

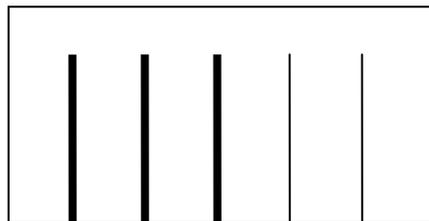
土地ノ価格

1 マン (10 lb³⁰) ノ種子ヲ播ク面積ノ価格 30 af – 100 af

1 日ニハ 7 マン³¹ノ種子ヲ播ク。2 ゼリーブ³²位ノ価格トナル。

耕作面積

全ク不定ナルモ何レモ 3 米—5 米置キニ畦ヲ作り水ノ流レ易イ様ニスル。畦ノ一方ニハ浅イ溝ヲ作り之ヲ流レル水ガ畦ノ中一面ニ溢レ出ル様ニシテアル。



麦ノ後ニハ「トウモロコシ」「ハルブザ³³」「タルブーズ³⁴」ヲ作ル。

無花果、桑ハ至ル処ニアリ。河原ニハ柳多数アリ。

4 時ニ「ホテル」ニ帰着。今日ヨリ食費ヲ支払フ。

1 月 6 日 (jaddī 月 16 日) chār-shanbe (Gereshk→Sorkh Dozd)

昨夜藤芳様フラワー³⁵ノ方面カラ帰ラレギリシュクニ泊ラレタル由ニテ 9 時ニ会ヒ久闊ヲ叙ス。旅行ガ辛カッタト見ヘテ憔悴シテ見ヘル。

午前 10 時出発。12 時半アイナックニ着キ昼食ヲスル。

³⁰ 1lb.(=pound)ポンドは 《重量の単位, 記号 lb. (ラテン語 libra から)》: a (常衡 (avoirdupois) で)=16 ounces, 7000 grains, 0.454 kg. b (金衡 (troy weight) で)=12 ounces, 240 pennyweight, 480 grains, 0.373 kg.

³¹ 重量の単位。1 マン(man)・カンダハール=4 キロ 375 グラム。(尾崎農業)

³² p. 322 参照。

³³ メロンの一種のこと。

³⁴ タルブズ。スイカのこと。

³⁵ 「ファラーフ」のことと思われる。

1時半出発4時45分「ソルホッドーツ」ニツク。(Sorkh Dozd)

水ノアル処ニハ小麦作ラル。

概シテ粘土カ礫地ニシテ可成[リ]強キアルカリ土ナリ。

水ノアル処ハ草、小カン木繁ル。排水ハ良好ナル土トハ云フコトヲ得ズ。

処々ニ木立アリ。ヘルマンドノ河岸ニハ木可成アルヲ見ル。

牛、羊ノ放牧ヲ多ク見ル。

家ハ「カブール」ヤ「カンダハル」ト全ク構造ヲ異ニス。

土ヲ以テ四角ニ壁ヲ作り其ノ上ヲ菰^{コモ}ヲ以テ被ヒ土ヲ淡^ウスク乗セ円屋根ニ作レリ。之レガ丁度カマボコヲ並ベタ様ニ並ブ。スペテー階作りナリ。犬多シ。タージー犬³⁶モアリ。

「アイナック」迄ハドウニカ道デアアルガ夫レカラ先ハ単ニ平原ヲ画シタルニ過ギズ道ヲ修理スルコト3回。橋不良ニテ下車シテ自動車ノミ通過スルコト3回アリタリ。

今日ハ我々一行六人ノ外ニ兵隊二人、道修繕ノ人夫四人ノ大勢ナリ。鶴嘴、スコップヲ持参ス。

「アイナック」ハ池本様モ測量期間泊ラレタル由ナリ。

十軒位ノ村ナリ。此ノ先ニ「カラビースト」ノ大ナル城ノ廢墟アリ。此ノ荒廢地果モ知レヌ砂漠ノ中ニ良クモ之レ丈ノ家ヲ建テタルモノ思フ。何年前ニ誰ガ建タモノカ不明デアアル。昼食ハ「ドーク」ナリ。一寸胸ニツマル。只食ノ如シ。

「ソルホッドーツ」300軒モアル可成[リ]大キナ村ナリ。

二人ノ地主ニ属ス。麦出来ルノミナリ。二年乃至三年ニ一回麦ヲ作ル。順環掠奪農業ナリ。

他ノ作物ハ買手ガナイノデ作レナイ。「アンジール³⁷」、林檎、バダム³⁸、ザルダール³⁹等出来ル。

土地ニ出来タモノハ半分ヲ土地ノ所有者ガ手ニ入レル。他ハ作人其ノ他僧侶等ニ納メル。

地主ノ一人ガ何呉トナク世話シテ呉レル。

言葉ハ殆ンド「プシドゥ」ナリ。地主ハペルシャ語ヲ話ス。

アブド・ラ[フ]マン・ハン王ノ時カブールニ行ッタコトガアル由ナリ。

洵ニ温厚ナル人ニ見ユル。

³⁶ p. 98 参照。

³⁷ 「イチジク」のこと。

³⁸ 「アーモンド」のこと。

³⁹ 「アンズ」のこと。

此ノ附近ノ人種ハ「ヌールザイ」デアアルガ支那人ニ良ク似テ居ル。カブールトハ人種殊⁴⁰ニスル。

何処ニ行ッテモ土民ハモンゴリア人⁴¹ニ近イ顔形デアアル。

300人ノ住民ノ内200人ガ土地ヲ有シ100人ハ土地ヲ有セズ。

大地主ハ200ゼリーブ位ヲ持ッテ居ル。普通ノ農家ハ15-20ゼリーブ位デアアル。

1ゼリーブノ小麦ノ収穫ハ35-40セール位デアアル。

四角ナ壁ノ囲ニ柳ヲ編ンデ屋根ヲ作り土ヲ乗セタ家デ、大キサ5米×10米位中ニ炉ヲ作り、其ノ囲リニ少シバカリ敷物ヲ敷キ、二枚ノ小サイ「ダツウ」アリ。此ノ中ニ一行ハ寝ル。

1月7日 (jaddī 月 17日) panj-shanbe (Sorkh Dozd→‘Aynak)

今日ハ駱駝ニテ各所ヲ見ル予定ナリシモ天候不良トナリタル為単ニ附近ノ土地ノミヲ見ル。

此処ノ定住民ノ外ニ天幕生活ヲスル放牧民ヲ多数ニ見ル。

此処ノ平野ハヘルマンド河ニ副ヒテ巾10秆位ノ平原ナリ。一方ハヘルマンドノ河ニシテ他方ハ砂漠地帯ニ続ク。ヘルマンドノ岸ニ近イ方ハ粘土重ク、砂漠ニ近イ方ハ2秆位ノ巾ニテ洵ニ良キ砂質壤土ナリ。

水ハ充分トハ云ヘズ、然シ人口トノ関係モ考ヘナケレバナラス。

「ソルホドーズ」デ昼食ヲトリ12時半出発ス。1秆位来タ処デ自動車ノ前車一輪橋カラ落ちル。人夫ヲ徴シテ引キ上ゲ2時出発ス。手伝セルモノニ運転手1クランカブリー⁴²ヲ与フ。

前進スルウチ橋修理中ノモノニ出合フ。人夫ヲ徴ス。

其ノ人夫来様⁴³晩カッタトテ兵隊ガ之レヲナグル。傍デ見ルモ氣[ノ]毒デアアル。

「パセルアイナック」ニテ土ヲ取ル。此処ハ30万ゼリーブノ水ノ来ル東南端ナリ。礫砂質壤土ナリ。表面ハ稍々赤味ヲ帯ビタ灰色土ナルモ一寸(3cm位)掘ルト赤土 Raterite[?]土トナル。21cmニテ塩分ヲ含ミ30cmニテ塩分ノ堅イ層ヲ見ル。塩分ハアルモ表土ハ良キ土ナリ。耕作ニハ良イ土デアアル。

5時「アイナック」(‘Aynak)ニ着ク。此処ニ一泊スルコトトナル。昨日

40 「異」のことと思われる。

41 ハザーラ人のことを指すか。

42 古い銀貨の単位。1キャラン・カーブリー=45プール。(尾崎農業)

43 「貴様」のことと思われる。

昼食ヲトリタル処ナリ。3m×15m 位ノ大サノ土壁ニテ囲マレタル室ナリ。夜ハ運転手、助手、**サイドグル**、及ヌール氏ハトランプ「フィスコート」ヲ行フ。日本ノ**ナポレオン**ナリ。異ルハ最初ノ配札五枚ノ時ニ切札ヲ宣言スル。他ハ同一ナリ。運転手ハ咳ヲスルノデ夜中ニタビタビ目ヲ覺マス。

1月8日 (jaddī 月 18日) jom‘a (‘Aynak)

ハローチkhaloch⁴⁴ノ水路ノ取口ヲ見ニ行ク。此レハ最モ大キナ水路ノ一ツナリ。

水ノ表面ノ広サ 6 meter 深サ 0.5 meter

底ノ形 (ヌール氏ハ底巾 8⁴⁵ meterト云フ)



表面流[速] 60 秒ニテ 160 feet ≒ 53 meter (ヌール氏ハ 60 meter
ト云フ)

ヌール氏ハ 10 米ノ流速ヲ計ッタ。

自分ハ一分間流標ヲ流シ其ノ距離ヲ計ッタ。

思ヒ出シタノデ池本様測定ノヘルマンドノ水量其ノ他ヲ記ス。

ヘルマンド渡シノ附近 毎秒水量 72 立方米

ボゴラーノ水路 27 立方米

一ゼリーブ 7 糶^{センチ}(cm)ノ水ニテ 18 日置キニ給水シ得ル。

午後ボゴラ水路ノ灌水地域タル**アイナック**側ノ土ヲ見ル。全ク荒茫幾千里涯シモ知レヌ大平原デアル。**アイナック**側ハ礫ヲ含ンダ sandy soil デアル。20-25 cm デ石灰層ヲ見ル。今夜モ**アイナック**泊リ。

1月9日 (jaddī 月 19日) shanbe (‘Aynak→Bolān→Qal‘eh-ye Nād ‘Alī (Boghrā) →Bolān→Mālgīr)

午前9時**アイナック**出発。9時半次ノ部落**ボウラン** (Bolān) ニ着ク。

此処ヨリ駱駝ニテ池本様設計ニナル水路ノ終点ニ向ッテ進ム (Boghrā ノ水路)。

駱駝ハ全ク始メテノ騎乗デアル。

駱駝ハ先ヅ前足ヲ折ッテ座リ次デ後足ヲ人間ノ足ノ如クニ折ッテ座ル。

⁴⁴ ●水路の名前と思われる。

⁴⁵ 解読できない。

座ッテシマヘバ容易ニ立タナイガ座ルコトハ駱駝ニトッテ却々嫌ナコ
トデアラシイ。

叩イテモ蹴ッテモ水ヲゴロゴロ云ハセル様ナ音デ泣イテナカナカ座ラ
ナイ。

自分ハ一人デ馱シ得ナイカラ相乗リスル。馱者ガ前デ自分ハ後ニ乗り
馱者ノ腰ヲ持ッテ体ヲ落ち付ケル。乗り道ハ楽デアルガ下り途ハポコポ
コスル。

又駱駝ハ立上ル時後足カラ立ツノデ用心シナイト前ニ滑り落ちル。

駱駝ハ歩ク時体ヲ前後ニウネラスノデ乗者ノ体ガ

前後ニ揺レ甚ダ疲レルノミナラズ体ガ大キイノデ跨ッテ騎乗スルト
驢座ガシマラナイノミナラズ両足ガ広く開クノデ足ガ非常ニ疲レル。

騎乗 1 時間半カラヘナジャー (Qal 'eh-ye Nād 'Alī) ニ 11 時半ニ着
ク。此レハ幾年前ニ建タモノカ知ラヌガ砂漠ノ中ニポツントーツ然カモ
大キナ家ヲ建タモノト思フ。

「ボーヴラン」カラ此ノ「カラー」迄ノ間ハ礫ノ多イ壤土或ハ埴土^{シヨクド}⁴⁶デ
処々ニ白イ土ヲ見ル。「カラー」カラハ徒歩デ約 4 軒バカリ行きNo.3 ノ池
本様ノ側定標ニ達ス。

此ノ間ラテライト⁴⁷化シタル壤土ニシテ表土 10 - 20cm位アリ。表土ハ

ダンダン
稍々灰色化セリ。表土ノ下ニハ盤層アリ。或ハ盤層ノ下ニ(表面ヨリ 30cm
位ノ処) 礫層アル処アリタリ。

至ル処表土ノ次ニ盤層アリ又表土ニアルカリノ

結晶ヲ見ルコト少キハ下方ニ礫層アルナルベシ。

表土ハ雨後モ亀裂ヲ生ズルノ形跡ナク又雑草、灌木割合ニ良く育テリ。
シカモ全ク一望千里ノ平原ニテ棉作ニハ絶好ノ土地ナルベシ。前ニ井戸
アリ 6 米ニテ水ヲ見ル。此ノ沙漠ノ中ニ水アルヲ見ルハ不思議ナリ。処々
ニ礫地アルモ多クハ表面ノミノ礫ニシテ耕作ニハ支障ナカルベシ。

3 - 4 ヶ所土ノ調査ヲナス。

3 時「カラー」ノ前ニテ写真ヲトリ再ビ駱駝ニ乗ッテ帰路ニ付ク。

行キノ時臀ノ座骨ノ処ヲ擦ッタト見エテ騎乗スルト「チクチク」痛シ。

30 分許カリシテ足モ痛ク、臀モ痛ク之レデ帰レルカト思フ程デアッタ。

駱駝ガ馳足ヲ始メルト痛ム処ヲ打ツノデトテモ堪ヘラレナクナル。デモ
我慢シナガラ 5 時出発地ニ帰着ス。他ノ人モ相当痛イラシイ様子デアッ

⁴⁶ 粘土分を 50 パーセント以上含む土。

⁴⁷ 赤土。

タ。

学生時代ニ馬ニ乗ッテ以来十何年一回ノ騎乗モシタコトガナイノデ足ヤ臀ノ痛イコトハ此ノ上ナシデアル。臀ニハ傷ガ出来タラシイ。下帯ガベタベタ臀ニ附着スル。痛クモアッタガ夕日ガ砂漠ノ西ニ傾イテ我駱駝共ニ長イ影ヲ砂上ニ延シ静カニ進ム時附キ副ッタ兵隊ガ長閑ニ歌ヒ出スハ得モ云ハレヌ詩デアリ絵デアル。自分ガ詩人デナク、絵書デナイコトガ残念デアル。

「ボーゴラン」ニハ泊ル処ナシノ故ヲ以テ直チニ自動車ヲ走ラセテマルギール (Mālgīr) ホシュデルハン^{ナカナカ}(Khoshdel Khān)ニ一泊スル。到着ハ 6 時半ナリ。此処ノ旅客用建物ハ却々大キク二室アリ。一室ハ土間ニ爐ヲ切ッタ他ノ処ノモノト同一デアルガ我々ノ泊ルベキ一室ハ一方ノ壁ニ暖爐ヲ切り込ミ「カーペット」ヲ敷キ詰メ寝具モ四包ミ置イタ良イ室デアル。

今回ノ思ヒ付キ。

良イ土地デ棉作ニハ持ッテ来イデアル。

大規模経営ニスルコト。

木ヲ植ヘルコト。

移民問題。

輪作スルコト。

肥料コトニ有機質肥料ノコト。

多角農業ニスルコト。

草ヤ灌木ノ堀株焚木其ノ他ノタメニ保存スルコト。

1月10日 (jaddī 月 20日) yak-shanbe (Mālgīr→Gereshk)

昨夜ハ今迄ニナイ御馳走デアッタ。パラオ (中味ハ鳥) ニ南瓜ノ摩実ヲ油デ煮タモノ。鳥ノ「ローガン⁴⁸」デ煮タモノ及「モーシュ⁴⁹」デアッタ。大キナ御馳走デアッタ為メ食事ハ 11 時寝ニ就イタノハ 12 時デアッタ。

早⁵⁰ハ道案内ノ兵士ニ起サレテ眼ヲサマス。9 時ナリ。今日デ顔ヲ洗ハザルコト三日。恰好ナ場所ガナイノデ大便ヲシナイコト二日。氣持ノ悪イコト此ノ上ナシ。

48 油のこと。

49 māsh、p. 317 参照。茶豆あるいは豌豆の一種。。

50 「朝」の誤記か。

朝ノオ茶モ甘ク喉ヲ通ラナイ。デモアノ汚ナイ布ノ上ニ並ベラレタ食物ヲ手摺デ食フノニ較ベレバ一番甘味ナノハ朝食デア。ソノ朝食モ今朝ハ喉ニ支ヘル。食事ヲ了ヘテ直グ出発スルノカト思ッテ支度シテ出ルト、昼食ハ此処デ終ヘテカラ出発スルトノコト。「ヌール」氏ハ銃獵ニ出掛ケテシマッタ。12時マデ日向ニ出テ本ヲ読ム。12時食事直チニ出発ス。途中「ヌール」氏ト「ユーソフ」氏ハ池本様設計ノ水路ノ標木ヲ見ツツギリシュクニ1時ニ着ク。ソシテ二人ハ又銃獵ニ出掛ケル。

自分ハ三日来ノ排泄ヲナシ水デ頭カラ尻、足マデスッカリ奇麗ニ洗ッテサッパリスル。

コンナコトナラバ何故昨夜「ギリシュク」ニ帰ラナカッタノカ僕ニハ全く不可解デア。少クトモ今朝スグ出発スレバ11時ニハ「ギリシュク」ニ着クノデア。食事ヲ他人ノ飯デ節約シタイノカ。ソレトモ遊ビタイノカ時間ノ貴重サヲ少シモ知ラヌ人達デア。

自分モ体ヲ洗ッテカラ「バザー」ニ出テ茶ヲ飲ム。此ノ国ノ人ハ生水デ食事スルノデ、食事ノ時オ茶ガ出ズ又食後モオ茶ヲ飲マナイデ、水ノ飲メナイ自分ハ、食後ヤ其ノ他常ニ渴ヲ覚ヘル。故ニ鱈腹オ茶ヲ飲ミタイ欲望カラバザーニ出テ茶ヲノム。

ザクロ 5ヶ 30 プール⁵¹、菓子 1af.ヲ買フ。ソレカラランプニ油ヲ買ッタ処一ヶ所デ1アフガニート称シタノデー且入レタモノヲ戻シテ他ノ店デ買フ（カプール

デハラムプニー杯ニ合位 30 プールデア）。

此ノ「ギリシュク」ノ「バザー」ハ旧城ノ南側麓ニ道ノ両側ニ新築サレタキッチンシタ「バザー」デア。

バザーノ北側ノ外レ十字路ニ道シルベアリ。

12 km—804	Yakhchal—Gereshk	南へ行ク
125 —200	Del Ārām—Gereshk	北へ行ク
123 —000	Darvīshān—Gereshk	西へ行ク
60 —000	Nouzad—Gereshk	東へ行ク
66 —000	Mūshā- Qal ‘eh—Gereshk	東へ行ク

1月11日 (jaddī 月 21日) du-shanbe (Gereshk)

今日午前中休憩。

午後ヘルマンド河ノ渡船ノ処迄散歩ニ出ル。

⁵¹ 貨幣の単位。1 プール(pul / pūl)=1/100 アフガニー。(尾崎農業)

何故今日ニ出發セヌノカ自分ニハ判ラナイ。
昨日モ殆ンド遊ビデアリ今日モ亦遊ビ全ク二日ヲ徒費シテシマッタ。
「ムサカラ」マデ僅カ 60 哩デアル如何ニ途ガ悪クテモ半日デ充分到着
スルコトガ出来ル。
此ノ国ノ人ニハ仕事ニ予定ト云フモノガナイ。昨日云ッテ居ッタコトガ
今朝ハモウ變ッテ居ル。毎朝毎朝、又一定ノ処ニ到着スル度ビ行先ノ評
定デアル。評定評定デ時間ヲ潰シテ仕舞フ。
今日迄 8 日間正味ノ日数ハ三日位ノモノデアル。
如何ニ能率ノ悪イカガ察ッセラレルデアロウ。
今日ハ少シ風邪気味デアッタノデ早くカラ寝ニ付ク。
少シ熱モアルラシク寢床デ発汗スル。

1月12日 (jaddī 月 22日) se-shanbe (Gereshk→Mūsā Qal‘eh→Shahr-e Kohne)

午前7時半起床少シハ熱アル様デアルガ起床スル。熱ノタメカ便通ナシ。
朝食後、午前9時半「ムサカラ」(Mūsā Qal ‘eh)ニ向ケ出發ス。今度ハ
兵隊一人ノミ。

12時(正午)ニ「ムサカラ」ニ着ク。

サーミナルノ平原 (Sāmīnar)

「ギリシュク」ヨリ自動車デ5分位ノ処カラ30分位ノ間ニ Sandy soil
(稍礫質)ノ雜草地帯アリ。

縦横 10哩—15哩ハアルベシ。

水サヘアレバ良キ棉作地ナルベシ。勿論民家ハナシ。

インザルシュライノ平原

サーミナルノ平原ヲ終リ幾ツカノ小山、谷ヲ過ギルト次ニ展開スル
ノガ此ノ平原。此ノ平原ハソウ大キナモノデハナイ。10分位デ縦ニ通
過スル。

此処ハ湧水ニヨル灌水ナリ。之ヲカリッジ (kāriz) ト云フ。可成[リ]
大キナ長イ水路ヲ各所ニ見掛ケル。

ランダイナク (Landī Nāve)

此処デ「ギリシュク」カラノ砂漠ハ一先ヅ終ル。低地トナリ 10米位
ノ川アリ。

デゾウール (Deh Zūr)

ランダイナクカラ又少シ上リ点々ト耕地ヲ見ツツ進ムト次ノ水ノナ
イ 50米位ノ巾ノ川ニ至ル。此処ニアル村ヲデゾウールト云フ。

ランダイナク、デゾウール間ノ耕地ハ広サモナク、高低モ多ク耕地ト

ナラズ。

ムッサカラ (Mūsā Qal'eh)

此処ニハ「アケミ⁵²、ダラジャエ、アワール⁵³」アリ。「ムッサカラ」川ノ岸ニアル点在セル部落ヲ合セテ「ムッサカラ」ト呼ブ。「アケミ」ノ家ト「バザー」トハ一個所ニアリ、バザーハ「アケミ」ノ建物ノ正門ニ向ッテアル途ノ左右ニ 20 軒位アル。斯ウシタ辺鄙ナ処ヘモ日本品ハドンドン進出シテ居ル。日本茶、布、茶器等ハ何処ヘ行ッテモ日本品デアアル。

此ノ「バザー」ヲ下ッタ処ニ「ムッサカラ」川アリ。

四ツニ分流シ三ツハ灌漑水路デアリ、何レモ毎秒 0.2-0.1 立方米位ノ水デアアル。本流ハ毎秒 1 立方米位ノ水量ナリ。

●一秒間ニ 0.5 米位ノ流速

●川巾 10 米、深サ 0.2 米位ナリ

川ノ中ハ約一秆位アリ、大部分ハ礫地ニシテ少シツツ畑水田（稲ヲ作ル）等アリ。

「アケミ」ノ事務所デ昼食ヲスル。

広イ庭内ニ四棟位ノ建物アリ。其ノ一ツノ一室ガ事務所デアアル。大サ 15 米×5 米位、二ツノ入口アリ。中ニハ「サドラ⁵⁴」ヲ敷キ壁ニ副ッテ蒲団ヲ敷キ並ベル。一ツノ窓口ニ事務用ノ机二ツアリ。其ノ周リニ十個バカリノ粗末ナ椅子アリ。一ツノ机ニハ黒イ布ヲ、一ツノ机ニハ模様入り護^フ引^キノテーブル掛ヲ掛ケタリ。其ノ上ニハ花模様入りノ硝子製花瓶ヲペン立トシタルモノ。花模様ヲ封ジコンダ硝子ノ文鎮二ケ

大理石及雲母ノ文鎮各一ケ宛アリ。

「アケミ」ハ 50 才位ノ温厚ナ物識リノ人デアアル。

謙讓ナ物ノ言ヒ方ヲスル人デアアル。

何処ヘ行ッテモ此ノ国ノ人ハ直キ人ノ俸給ヲ聞キタガル。此処デモ亦アフガン人同志デ僕ノ俸給話ヲ遣リ取りシテ居ル。一寸嫌ナ気ガスル。ムッサカラノ附近ハ小麦、大麦ノ栽培少シ。玉蜀黍ヲ多ク作ル。食事ノ大部分ハ玉蜀黍デアアル。

1 ゼリーブノ価格 500 アフガニー位

鋤^{スキ}一個ノ価格 120 アフガニー位

今日ハ之レニテ休ミ明日 Zamīn Dāwar ニ向ケ出發スル話ナリシ処、昼

52 ハキームのこと。

53 hākem-e daraje-ye awwal (一等行政官) のことか。

54 (手織りの) 敷物。(アーセフィ)

食後急ニ出発スルコトトナリ。

馬ヲ仕立テ4時 Mūsā Qal'eh ヲ出発ス。自分ハ一人乗レナイノデ「サイドグル」ノ後ニ相乗リスル。

途中ハ全ク丘陵アル砂漠ニシテ処々ニ谷間アリテ泉ヲ掘リ灌漑水及飲水ヲ得ル。kāriz アリ其処ニハ部落ト僅少ノ耕地アリ。此ノ沙漠地モ必ラズシモ不良ニハアラザルモ水ナキ為メ利用出来ズ。処々ニ kāriz ヲ見ル。

途ノ中バニテ日暮レ「アラカダール⁵⁵」ノアル処 Shahr-e Kohne ニハ7時ニ到着ス。行ヲ一緒ニセル兵二名ト荷物ヲ持ッタ子供ト「ユーソフ」氏ノ「ボーイ」ハ後レテ9時ニ到着ス。

Shahr-e Kohne ニハ古キ城ノ跡アリ。此ノ国到ル処ニ古城ヲ見ルハ、ウタタ ハカナキ 人生ヲ思ハシム。如何ナル理由デ随分榮ヘタデアロート思ハレル此レ等ノ城或ハ町ガ亡ビタノカハ知ル由モナイガ、水ノ消長ガヤハリ之レヲ支配シテ居ルノデハアルマイカ。

Shahr-e Kohne ノ「アラカダリー」ニハ「アラカダール」ノ外ニ二人ノ「ミルザ⁵⁶」アリ。又兵士数名アリ。全クノ男世帯デアル。

11時「パラオ⁵⁷」ノ御馳走アリテ寝ニ就ク。

Zamīn Dāvar ノ耕地ハ全部 kāriz ニヨル灌水デアル。

2.5ゼリーブニ対スル播種量小麦ニテ20セール(?)

1月13日(jaddī月23日) chār-shanbe (Shahr-e Kohne→Bājghar→Shahr-e Kohne)

午前9時半出発、馬ニテ「ヘルマンド」川ニ向フ。

今日ハ独リニテ馬上ス。落馬ハセザルモ遅々トシテ進マズ。他ノ人ニモ迷惑ヲ掛ケ自分モ疲ヲ覺ヘタノデ、11時半バージュガル(Bājghar)ニテ馬ヲ止メ、自分ハ川岸行ヲ止メ一人此ノ村ニ止マル。他ノ人ハ全部出掛ケタリ。村人ハペルシア語ヲ話サズ。全ク退屈ナリ。ペルシア語ノ単語カードヲトリ出シ暗記ヲ始メル。

村人ハ言葉ハ通ゼザルモ茶ナド汲ミテ歓待スル。12時20分他ノ一行帰着ス。此処ニテ昼食ス。

Bājghar ノ附近ノ耕作

小麦、大麦、玉蜀黍ヲ作ル。果物モ各種アリ。

55 ●

56 mīrzā (貴人) のこと。

57 ピラフのこと。

一年置キニ作物ヲ作ル。

休閒田ニハ緑肥⁵⁸モ作ラズ、kārīzナルタメ。休閒田ニ廻ス丈ノ水ナシ。

農耕ハ全部 kārīz デアル。一ツノ kārīz ヲ作ルニハ

20,000 アフガニーヲ要スル。此ノ深サハ 40—100 ガズ⁵⁹位アル。

棉モ作ル。水ハ 7 日置キニ与ヘル。90 日ニテ実ル。

此ノ土地ハ水ナキ為メ耕地ヲ掘ゲ得ズ。ヘルマンド河モ深く水少ク此ノ台地ニハ引水シ得ザルベシ。

Shahr-e Kohne ト Bājghar トノ間ニハ clayey soil ノ可成[リ]大ナル耕地アリ

(馬ニテ 1 時間半位歩ク間)、然シ實際作ラレルモノハ 1/3 足ラズナリ。

Bājghar ヲ 2 時出発、一人乗馬ヲ止メテ「サイドグル」ノ後ニ乗ル。3 時半 Shahr-e Kohne ニ帰着ス。

kārīz ノ数ハ 140 位アル。

1 月 14 日 (jaddī 月 24 日) panj-shanbe (Shahr-e Kohne→Mūsā Qal‘eh)

朝食後、古城ニ登ル。高サ 20-30 米ノ土山ノ上ニ城ヲ作りタルモノノ如シ。頂上ハ 100 坪位ノ大サナリ。少シ屋壁残ルモ他ニハ何モ残りナシ。城麓ヲ広く城壁ヲ以テ取り囲メリ。頂上ヨリ Zamīn Dāvar ノ平原大部分ヲ鳥瞰スルコトヲ得。耕地ハ此ノ処ヨリ東南ニ向ッテ開ケ北西ハ沙漠トシテ谷間谷間ニ耕地ヲ見ルノミナリ。

此ノ平原ハ土質ハ loamy soil ト云ヒ得ル。排水モ可良デアル。

総テ kārīz ニヨル灌水デアル。

一ツノ kārīz ハ 1 ハロワール⁶⁰ (カブール) ノ小麦ヲ播ク面積ニ灌水スルヲ得。

(1 ハロワール=80 セール⁶¹、1 ゼリーブ⁶²=5 セール位ノ種子ヲ播クノデ 16 ゼリーブ位トナル)。

kārīz ハ 15 米位置キニ豎孔 (深サ 5—10 米直径 3 米位) ヲ掘リ其ノ間ハ横孔 (巾 2—3 米高サ 1—2 米) ノモノヲ以テ相続ナゲリ。遠方ヨリ見ル時ハ小サイ盛土ガ連続シテ居ル様デアル。

(60—70?) ノ kārīz ガアル様デアルガ水ノ出ナイモノ沢山アル。

自分ノ測定シタモノデハ毎秒流量ハ 0.1-0.3[m?]位デアルト思フ。

58 鮮緑な植物の葉や茎を田畑にすきこんで腐食させ肥料とするもの。

59 長さの単位。1 ガズ(gaz)・カンダハール=105 センチメートル。(尾崎農業)

60 重量の単位。1 ハロワール(kharwār)・カーブル=560 キログラム。(尾崎農業)

61 重量の単位。1 セール(sēr)・カーブル=7 キログラム。(尾崎農業)

62 面積の単位。ヂェリーブのことと思われる。1 ゼリーブ(jirīb)は約 2,000 平方メートル。(尾崎農業)

Zamīn Dāvar ハ土質モ良ク、気候モ良ク、排水モ良イガ

1. 灌漑水ガ不十分ナルコト。
2. 運輸ノ便ノナイコト。
3. 人口ノ不足スルコト。

ニテ栽培ニ成功スルヤ否ハ不明デアアル。

土地ノ人ハ棉ヲ作レバ食物ヲ如何ニスベキヤト云フ。然シ小麦、大麦ハ冬作デアリ、只トウモロコシノミガ棉作ト抵触スル丈デアアル。故ニ之レハ理由トナラナイ。只掠奪農業ヲ行ヒ施肥セザル場合何レカー作ヲ抛棄^{ホウキ}シナケレバナラヌ理由トハナル。此レハ此处 (Zamīn Dāvar) 丈ノ問題デハナイ。

此ノ十日間毎日食ベルモノハ同一ノ料理バカリデアアル。料理ノ種類ノ少イコトハ驚ク程デアアル。従ッテ作物ノ種類ヲ必要トシナイ。

コンナ国デ作物ノ改良発達ト云フコトガ望メルデアロウカ。

午前9時半 Shahr-e Kohne ヲ出発ス。相変ラズ「サイドグル」ト相乗りデアアル。

12時半 Mūsā Qal 'eh ニ着ク。

尻ノ痛イコトハ相変ラズデアアル。

Shahr-e Kohne ヨリ出発シテ1時間位ノ間ニハ処々ニ kārīz アリ。又耕地、村アリ。ソレカラ Mūsā Qal 'eh 迄ノ間ハ全ク沙漠ナリ。此ノ沙漠中ニモ良キ耕土ノ平原一、二ヶ所 (各所トモ 2-300 ゼリーブ) ハアリ。然シ水全クナシ。2時昼食ヲトル。

棉ノ蒞ヲ取り寄セル、繰棉モ持ち来ラシム。

1. 蒞ハ開カズ。開絮^{ジロ}セズ⁶³。土地ノ人ハ此シテ品質ダト云フガ、蒞ノ乾燥具合カラ見テ生ノ時取ッタカ、或ハ灌水ガ少クテ開カナイノデハナイカト思フ。
2. 繰棉ニ棉ノ葉屑等沢山附着セリ。製品良好ト云フコトヲ得ズ。
3. 繊維ノ長サハ 15—20mm 位デアアル。
4. 蒞ノ色ハ褐色デアアル。

ザミンダウル附近ノ葡萄栽培

6尺置キニ深サ3—4尺巾2尺位ノ溝ヲ堀リ、其ノ中ニ3尺ノ株間デ千鳥形ニ植ヘツケル。

溝ハ東西ニ長ク堀リ、蔓ハ日陰トナル様ニ南側ノ畦壁ニ立テ掛ケル。株ハ5尺位ノ長サニ切り、側枝ヲ出ス。

⁶³ 棉の果実がはじけること。

午後ハ休息、ムッサカラニー泊スル。

此ノ国ノ人ハドコ迄無智デアリ、無学デアルカ全ク想像ニ余ル。今日程スベテヲ不快ニ感じタコトハナイ。異国人ト云フコトガ珍ラシイノカモ知レナイ。マルデ赤坊ニ物聞ク様ナ尋ネ方ヲスル。林檎ハナント云フカ、ザクロハナント云フカ、米ハドウスルカ、何ヲ食ベルカ。物ニハ都合ガアル。或ル程度迄ハ

答ヘルノハ義務デアリ、友義デモアル。シカシ、其ノ態度ガ人ヲ嘗ムルニ至ッテハ答フルノ限リニ非ラズ。遂ニ回答ヲ与ヘズ。無言トナル。

人ノ俸給高ヲ噂シタリ、身勝手ニ人ノ批評ヲシタリ民度ノ低イ国民ノ致シ方ナシトスルモ中ニハ外国ニ行ッタ人モ雑ッテ居ルノデ其ノ教養ノ度ガ疑[ワ]レル。

身分ノ高イ人ガ出入リスルト立上ルノガ礼デアラシイ。

此ノ時身分ノ高イ人ハ座レ座レト称シ忙イデ腰ヲ据ヘルコトニ努カスル。此レモーツノ作法デアラシイ。

此レモ一度二度ナラ少シモ目障リニナラズ良イ慣シデアル。座ルニ作法ノナイ国デアルカラ此レ等ハ最モ良イ習慣デアロウ。然シ目上ノ人ガ立ツニツケ座ルニツケ半分持テ余シタ様ニ腰ヲ上ゲルノハ終リニハ不愉快トナル。

常ニ自分ニ有利ナ立場ヲトラントスル彼等国民ガ人ノ前丈デハ如何ニモ心カラ従ッテ居ル様ニ見セカケル。一ツノ「カモフラージ」トシカ見ヘナイ。若シ相手ガ自分ニ

何ノ利益モ与ヘナイトシタナラバ果シテ如何ナル程度ノ尊敬ヲ相手ニ返ヘスデアロウカ。

1月15日 (jaddī 月 25日) jom‘a (Mūsā Qal‘eh→Gereshk)

今日ハ Nouzād 行キナリ。昨夜ヌール氏ハ「馬行スル、オ前ハドウスルカ」トノコトナリシガ自動車路アルヲ以テ時間ハ要シテモ自動車行ヲ主張シ今日ハ自動車ヲトルコトトナレリ。

仕度ヲシテ愈々出発スル段トナリ Nouzād 宛ノ手紙ヲ持参シナカッタノデー且ギリシュクニ引キ返ストノコトナリ。

此レハ 12 日ニ Gereshk ヲ出発スル時用意スベキモノデアリ、其ノ時 Nouzād ト Mūsā Qal‘eh トハ相続ケテ行クノダト云フコトハ明瞭タル事実デアッタ。ソレヲ用意セズニ出発シテ今又ギリシュク帰りデアル。丸ニ日ハ丸潰レデアル。

何ント無計画ナ、不用意ナコトデアロー。

総テガ此ノ通りデアル。物事ノ甘ク行ク理由ガナイ。

9時45分出発、12時少シ前ニギリシュクニ帰着ス。

体ヲ洗ヒ、汚レモノヲ洗濯スル。奇麗サッパリシテ気持ノ良イコト此ノ上ナシ。

昼食ガ用意サレヌ（別ノ二人ハ欲シナイノデアロー）ノデサイドグルヲ連レテ街ニ食べニ行ク。パラオ二人分及茶

ニテ 2 af 50 pul ナリ。

3時半頃マホマッド氏及ヌール氏トヘルマンド橋ニ工事ニ来レル独乙人シーマー氏及 Frits Ewert 氏（Stuhl-union exporter, Diplomatic Engineer）ニ会ヒニ行ク。彼等ハ天幕生活デアル。

シーマー氏ハ土木省ノ技師。好男子デアリ、人ノ応接、話振りモナカナカ上品デアル。既ニ5年此ノ国ニ居ルトカ。ペルシャ語モナカナカ達者ナリ。

斯シタ政府ノ仕事場ヘデモ自国ノ商人ヲ引キ具シテ来ルコトハ日本人ニハ一寸考ヘラレナイコトデアル。

彼エベルト氏ハ如何ナル農具ガ入用カト尋ネカケル。然シ自分ハ政府ガ決定スルノデアッテ自分デハ云ヘヌト答ヘズ。

外人ノ遣リ口ハ却々積極的デアル。

シーマー氏ニシテモ恐ラク土木ノ専門家デアローガ農業ノコトニモ却々口ヲ出シテ語ル。

彼等ハ洵ニ大胆家デアル。

茶菓ノ接待ヲ受ケテ帰ル。

ユーソフ氏、ヌール氏ト此ノ国ノ農組織ノ改革ニツイテ語ッタガ彼等ハソレハ出来ヌト称ス。然シ之レガ出来ナケレバ此ノ国ノ農業発達ハ到底見込ナシデアル。彼等ニ其ノ氣力ガナケレバモウ手ノツケ様ガナイデアロウ。

婦人解放問題ニモ少シ触レテ見タ。若イモノ、外国ニ居タモノハ其ノ必要ヲ感ジテ居ル。然シ今ノ処見込ナイ様デアル。

夕食ハ米ガ良イダロートテ「パラオ」ノ用意ガサレタ。然シ疲労シテ居ル勢カアマリ甘シクナイ。

同行ノ人達ハ「オ前ハヤツレタ」ト云フ。ソウカモシレナイ。物事ガ総テ腹立シクナル。気持ガ非常ニ短氣ニナッタ。

デモ我慢シテ行カナケレバナラヌデアロー。

1月16日（jaddī月26日）shanbe （Gereshk）

7時半起床。茶ヲ飲ミ読書ス。「ヌール」「ユーソフ」氏ハ9時起床。寢床一ツニ手ヲ触レナイ。水モ汲マナイ。洗面ハ総テ湯デアル。顔ヲ剃ッテモ「ボーイ」ガ附キ切りデアル。家柄ヤ資材ハドウカ知ラナイガ農学校長、農業技師位デスカル生活デ果シテ此ノ国ノ農業ガ背負ッテ行ケルデアロウカ。

今少シ彼等ハ政治的ニ行政的ニ動キ得ル人間デナケレバ此ノ国ノ農業改善ハ望ミナシデアル。

自分カラ手ヲ下シ自分カラ物事ヲ処理シテ行ケル人間ヲ必要トスルデアロウ。

朝此処ノ「コンマンダニー」(之レハ一種ノ司法官デ殆ンド町長代理ヲ勤メル人デアル。カブールデハ警官又ハ軍人ノ長デアル)ガ写真ヲ撮ッテ呉レト云フノデ撮ッテヤル。先日始メテ来タ時撮影シヨウトシタ処ガ正式ノ服装シテ居ラヌトテ撮影ヲ断ラレタ。今日ハ朝カラ正式ノ服装ヲ着ケテ出テ来テ向フカラ撮影ヲ希望シテ来タ。役人ガ平服デ

仕事ヲシテ居ナガラ其ノ姿ヲ見ラレルコトハ非常ニ嫌ガッテ居ル。

有識者階級ハアフガンノ平服姿ヲ外人ノ写真ニ取ラレルコトヲ非常ニ嫌ッテ居ル。午後ハレポートヲ少シ書ク。運転手ヤ其ノ他ノ連中ガ側ヘ寄ッテ来テ却々仕事ガ出来ナイ。側デ話シ掛ケラレタリ、仕事ヲノゾカレタリスルト気が散ッテ仕舞フ。無教養ナ人間程相手ニナラヌモノハナイ。

今日一日何故休ンダノカ僕ニハ意味ガ分ラナイ。僕ガ疲レテ居ルト云フ理由カモ知レナイガ、ソレナラバモッテノ外デアル。僕ハ疲レテ居ル。食事モ充分ニトレナイ。早く仕事ヲ終ヘテ帰りタイノガ山々デアル。ソレヲ彼等ノ悪イ手配リノタメニ晩レ晩レシテ居ルノヲ我慢シテ居ルノデアル。

夕食後早目ニ寝ル。

1月17日 (jaddī 月 27日) yak-shanbe (Gereshk→Nowzād)

午前8時15分ギリシュク出発。

途中ニテ途ヲ迷フ (サミナールノ平原ナルベシ)。之レヲ正道ニ戻シテ10時Sādātヲ通過。大キナ廢墟アリ。窪地ニカレージヨリ来ル水路ト畑アリ。

10時50分 Qal'eh-ye Nāyeb Sālār ヲ通過。此処ニハオ寺アリ。村アリ。耕地モ多少アリ。

此処ヨリ道路急ニ悪クナル。ソシテグルガイノ山ニカカル。

グルガインヨリ「ホラジャマール⁶⁴」ニ至ル間ニ良キ耕地アリ。良キ平原アリ。

午前 12 時 Nouzād ニ到着ス。

此処ハ割合ニ樹木ノ多イ、家モーケ所ニ纏ッタ良イ村デアル。家ハ樹ガ多イ為メカカブールノ様ナ平タイ屋根ノ家デアル。

アケミ、ダラジャエ、セウム⁶⁵ノアル処デアル。

此処デハ室ニハ「テーブル」モナシ五一六ノブリキ製

トランクアルノミナリ。何レモパジャマノ上ニ洋服ヲツケタルカ或ハアフガン服ノ上ニ洋服ヲツケタル姿ニテ床ニ座テ事務ヲトル。便所ナシ。

アケミ、アラカダール等ニ便所ノナイ処ハ此処ガ始メテデアル。

昼夜ハシヨルバー⁶⁶デアッタ。

此ノ平原ハ 3,500 呎ノ高サニアリ。

全部 kārīz ニヨル灌水デアル。

kārīz ハ 150 位アリ。

1 ツノ kārīzハ長イノデ 3 コルバー、小麦種子 (1 コルバー=3 ハルワール・カンダハール=180 セール・カブール) ニ水ヲ与ヘ得ル。即チ 180 セール×3=540 セール⁶⁷

1 ゼリーブ 5 セール小麦播種トシテ 100 ゼリーブ⁶⁸4 セール播種トシテ 135 ゼリーブトナル。(1 コルバーノ小麦種子ハ 40 - 50 ゼリーブニ播キ得。)

一ツノ kārīzハ 50—80—150 位ノ井戸⁶⁹アリ。

一ツノ井戸ハ 30—50 ガズ位ノ深サデアル。

果物ハ

無花果、柘榴、バダム⁷⁰、桑、

桑ノ葉ハ「フート月」カラ「ハマール月」ノ 15 日迄ニ出ル。

ギリシュクヨリ 10 日位遅レテ実ル。

64 ●「地名」か？

65 hākem-e daraje-ye se-wom (三等行政官) のこと。

66 肉及び野菜スープ。

67 衡について在来法の呼称は同じでも、地方により値に著しく差がある。カーブル地方とカンダハール地方の対比は以下の通り。

1 ハルワール(kharwār)・カンダハール=96 マン=60 セール・カーブル=420 キログラム、

1 マン(man)・カンダハール=40 セール=10 パーウ(pāw)・カーブル=4,375 グラム、

1 セール (sēr)・カンダハール=1 ホルト(khwurd)・カーブル=109 グラム 375。(尾崎農業)

68 ここに「5 セール小麦播種トシテ 100 ゼリーブ」の語が入るが、意味不明。

69 竪孔のことと思われる。

70 アーモンドのこと。

作物

小麦、大麦、トウモロコシ、棉。

一年置きニ元ノ土地ニ還ッテ栽培スル。

一人ガ3—4ゼリーブノ棉(?)ヲ作ル。

天候

時ニ雪アリ。春ハ川ニ水アリ。ギリシユクヨリ寒イ。

qaus月→hamal月ノ間雨アリ。

此処ヨリ5クロー⁷¹位奥ニ谷間アリ。水堤ヲ作ルニ良イ土地アリ。

1ガズデ水ガ出ル程地下水ガ高イ。

小麦ノ価格、半セール3アフガニーシタ。

ムサカラ→ナホザッド 12クローアリ。

モトチノール⁷²ハナカッタガ苗ヲ持ッテ来テ今ハ育ツ様ニナッタ。

棉

棉ノ収穫。

1マン(10パウ・カプール)ノ種子カラ20-40マンノ収穫アリ
(種子及蒴ヲ含ム)

棉ノ種類

蒴ハ赤褐色ニシテ種子ハ白、木ハ4尺位ニナル。

一品種ナリト云フ、然シ良ク見ルト三ツ位ノ品種相混ジタリ(一握リノ棉ヲ見タルノミナレバ確言ハナシ得ズ)。即チ

1. 皮三ツニ裂ケル、顆小、繊維白シ。
2. 皮四ツニ裂ケル、顆梢大、繊維黒
3. 皮五ツニ裂ケル、顆梢大、繊維黒

棉ノ収穫

皮ト共ニ収穫スル。

棉ニハ葉屑等多量ニ附着セリ。

棉作期間

ジョウザー[月]ノ終—ミザン[月]ノ終リ迄

6日毎ニ水ヲ与ヘル。播種後15—16日デ灌水スル。

⁷¹ 距離を示すのに用いられる長さの単位。1クロー(kuroh)=3,300メートル。(尾崎農業)

⁷² 「スズカケ」のこと。

思ヒツキ。

1. 全体トシテ塩基ノ結出ヲ見ズ。ソシテ clayey soil 或ハ sandy loam ナリ。土地トシテハ良。礫、小砂利アリ。
2. 樹木ヲ植ウル必要ノアルコトハ他ト同一ナリ。カンドハール地方ハ秋植ヲ可トスベシ（標高 3,500 呎以下ノ土地）
3. 人口ト、運送方法ハ考ヘルノ必要アリ。

昼食ヲ終ヘルコロカラ雨トナリ外出不能トナル。

アケミノ家デ半日ヲ過ス。

夕食ハ「パラオ」ナリ。我々ノ旅愁ヲ慰サムルタメアケミハ音楽師ヲ呼ビ歌ヲ歌ワシム。一人ハ太鼓一人ハ手風琴⁷³ナリ。三曲ヲ唱フ。時ニ合唱、時ニ独唱、手風琴ヲ奏スル人ハテノール、太鼓ヲ打ツ人ハバスノ歌主ナリ。手風琴ハ欧州ヨリ移入サレタルモノニシテ純粹ノ土楽器ニアラズ。

歌謡ハ欧州風ノ歌ヒ方ナリ。唯尾節ヲ長ク余音ヲ残シテ歌[フ]コト、音域ガ狭イコト（2 オクターブ以内デアロー）、從ッテオルガンモ 2 オクターブ半位デ高音ヲ弾クト自然ニーオクターブ下ノ音ガ相和スル様ニナッテ居ル。

弾法ハ片手丈デ単純デアアル。

曲ハ繰返ガ多ク「トレモロ」少ク僅ニ[∞]⁷⁴ヲ有スル程度ナリ。又一音声ヲ長ク引イテ変調サレルコトモ少イ。大体歌ヒ方ハ印度ノ音楽ニ似テ居ルガ此ノ点ガ非常ニ異ル様デアアル。

オルガンハ全ク伴奏譜ヲ奏デ主曲ハ歌手ガ唱フ。何レモ「アフガニー⁷⁵」デ歌ッタ。

夕食後菓子ト紅茶ノ饗応アリ。此レハ今迄ニナカッタコトデアアル。食後茶ヲ飲ナイノガ此ノ国ノ習慣デアアル（食事中ニ水ヲノム）。從ッテ食後茶ノ出ルコトモ至ッテ少イ。菓子ノ出ルコトニ於テヲヤデアアル。

「ホシブドウ」「ヌクル⁷⁶」、飴菓子トザクロノ[]⁷⁷実ガ出ル。

別室ニ休ム。

此処デモ俸給ノ詮議、日本人、日本ノ批評等洵ニ嫌ニナル。

⁷³ アコーディオンのこと。

⁷⁴ 奏法の「逆ターン」記号。

⁷⁵ パシュト一語のこと。

⁷⁶ 氷砂糖のこと。

⁷⁷ 判読不明。

1月18日 (jaddī 月 28日) du-shanbe (Nowzād)

午前7時起床。昨日ノ雨ハ止ミタルモ充分ニハ空晴上ラズ淡曇。ヌール、ユーソフ両氏ハアケミト共ニ5クロー許リ先ノ貯水シウル土地ヲ見ニ行く。自分ハ馬ニ乗レヌノデ残ル。

馬或ハ駱駝ヲ乗レル様ニ仕立テルナラバ自分モ行キ得ル。然シ彼等ニハソレ丈ノ親切サハナイ。スデニ「ギリシュク」デ「ヌール」氏ハ「オ前ハ此処ニ残レ」ト云ッタ。然シ自分ハ自動車ノ行く処マデハ行く[ト]云ッテ此処マデ来タノデアル。此処へ来テモ着クトカラ残レ残レト云フ。乗ッテ行ケル様ニ都合ヲツケテ呉レル親切モ手配モシナイ。全ク自分ノ都合ノ良イ様ニ仕事ヲシテ居ル。外人ト一緒ト云フコトヲ少シモ考ヘテ居ラヌ。愈々出発ニ際シテモ彼等丈デ「バザー」、「カレーズ」ヲ見テ出テ行く。馬ニ乗ル処ナラバ兎ニ角歩イテ行く処ナラバ一緒ニ行ッテモ良サソウナモノデアル。

自分ハダルラートタルジ・マホマッドト一緒ニバザー、カレーズヲ見ニ行く。

カレーズノ水量、此レハ良イ方デアルト云フ。

流速 毎分 24 米 毎秒 0.4

溝巾 2.9 米 水深 0.6

毎秒水量 $0.4 \times 0.9 \times 0.6 = 0.216$ 立方米

毎秒 0.2—0.3 立方米位デアロー。

良イモノデ 100 ゼリーブ—150 ゼリーブノ流レトスレバ此位ガ正常デアロー。

他ノ kārīz

流速 毎分 30 米 毎秒 0.5 米

溝巾 1.5 米 水深 0.2

毎秒水量 $0.5 \times 1.5 \times 0.2 = 0.15$ 立方米

附近ハ土質甚ダ良好ナリ。

loam soil、

多少礫ヲ含ム。排水良好

「アルカリ」一土ナラズ。

kārīz ノ堀リ割ヲ見ルニ上ヨリ下マデ略土質ノ土ナリ。

然シ礫質ノ砂土ト云フコトガ出来ルデアロウ。

水サヘアレバ良イ耕地デアル。

午後古城ヲ見ニ行く。アケミノ直グ近ク徒歩 10 分位ノ処ニアリ。殆んど附近ノ住民ニ荒サレ今ハ台ヲ残スノミデアル。

(農民ガ此ノ城壁ヲ崩シテ肥料トスル)
石、人骨、陶器、什器ノ破片等多数出ル。古錢モ堀り出サレル由。
幾年昔ノモノカ不明ナルモ 2—300 年前ノモノナルベシ。陶器ハ「バ
ミアン」ノ「シャーレゴロゴロ⁷⁸」カラ出ルモノト同一デアル。
人骨ハ城ノ破レル時死ンダモノカ殺シテ壁ノ中ニ入レタモノカ不明
ナルモ壁土ノ中ニガッシリト入ッテ居ル。此処ハ家ノ構造外觀ハナカ
ナカ大ナリ。ギリシュクカラスルフトゾド⁷⁹ノ間ノ家トハ比較ニナラ
ズ、恐ラク有[裕]福ナルベシ。

此ノ地方ハ排水良好、アルカリ結晶少シ。
気温モ温暖、時ニ雪霜アルノミ。altitude 3,000-3,500 feet
東北ハ山 (4—5,000 feet) アルモ西南ハ開ク。

故ニ冬作トシテ

豌豆、菜種、蚕豆、紫雲英⁸⁰育ツベシ。

夏作ノ大豆栽培モ有利ナルベシ。

午後 5 時一同 (馬行セルモノ) 帰着ス。

彼等アフガン人ノ人モナゲナ振舞ハ相変ラズ腹ガ立ツ。

人ノ生活ニ非常ニ干渉スル。ドウシテ食ベル。之レハ何デアルカ。斯
ク握レ。紅茶ガ良イカ。緑茶ガ良イカ。砂糖ヲ入レロ。沢山食ベロ。
沢山食ベタ。少ク食ベタ。左手ハドウ、右手ヲ使へ、等煩シコト此ノ
上ナシ。

早目ニ休ム。

1 月 19 日 (jaddī 月 29 日) se-shanbe (Nowzād→Gereshk)

午前 6 時半起床。

8 時 10 分 Nouzād 出発、Gereshk ニ向フ。

11 時 Gereshk 着。

今日ハ上天気ナリ。Nouzād ハ霜及氷ヲ見ル。

Gereshk ニ向フニ従ヒ雨ニ濡レタル痕跡ナシ。Gereshk ハ全ク乾燥セリ。

今日ハ Hotel ニ他ニ客アリタリ。我々一行ノ到着ニヨリ此ノ室ヲ讓[リ]
物置ニ入ル。気毒ナリ。

78 『尾崎日記?』の 1936 年 8 月 17 日の項に以下のような記述がある。「[石造大仏の] 付
近ニ「シャーレゴロゴロ」アリ。来歴不明ナルモ蓋シ相当榮ヘタル町ナルベシ。目下発掘
中ナリ。尚付近ニハヂンギスカン作りタル町ノ廢墟アリ。」

79 Sorkh Dozd のこと。

80 レンゲソウのこと。

1月20日 (jaddī月 30日) chār-shanbe (Gereshk→Nahr Sarāj→Qandahār)

午前9時出発—10時 Yakh Chālニ到着ス。

此処ヨリ Nahr Sarājノ耕地ヲ見ニ行ク。

Nahr Sarājハ独乙人シーマー氏ノ設計ニナルモノニシテ Sangīカラ Qal‘eh-ye Bīstニ水路ヲ取り16万ゼリーブヲ灌漑セントスルモノデアアル。

三年間ノ工事デ昨年完成シ本年ヨリ通水セリ。

最初ハ6ゼリーブ灌水ノ様ニ水路ヲ作り毎年之レヲ掘リ下ゲテ16万ゼリーブ灌水ノ水路タラシメムトスルモノデアアル。目下Yakh Chāl附近ニ於ケル水路ノ大サハ5米ニ水ノ高サ30cm位デアロウ。堤防ノ高サハ2尺位デアアル。然シ水ノ通ル巾ハ2米巾×30cm位デアロウ。

附近ノ土ヲ見ル。

表土25cm良、底土硬、石灰或ハCaSo⁴⁸¹ヲ含ム。

之レヨリ自動車ニテQal‘eh-ye Bīstニ向フ。

行クコト約1時間ニテヘラテイザイニ到着ス。

此処ハ本年出来タ村デアアル。

家ノ数ハ10戸位デアアル(天幕ノ家)。然シ質問シテ見ルト此ノ家ノ中ニ60家族位住ンデ居ルト云フ。然シ一寸考ヘラレナイコトデアアル。

一家族ノ耕作面積ハ3ゼリーブト云フ。

此処カラ約20分間下流ニ下ル。然シ道ガナクナッタノデ此処カラ引返シ再ビヘラテイザイニ来、昼食ヲ取ル。

「クルティ⁸²」ヲ昼食トスル。一寸手ガツカナイ。シカシ食ベナケレバ飢ヘルノデ無理ヲシテ食ベタ。

オ茶モ塵ガ沢山浮イテ居ルシ茶碗モ汚イノデ驚イタ。此ノ新耕地ハ全ク平タイ処デ土質モ悪イト云フコトハ出来ナイ。loamy soilト云ヒ得ルデアロウ。

未ダ十分の一以内ノ開墾デアロウ。

12時ヘラテイ発Yakh Chālニ引キ返シタ。

1時30分ヤフチャル着。

Yakh Chāl→Gereshk 12km703m

3時00分 Kashknakhodニ着ク。

Kashknakhod→Meyvand 21km 000mアリ。

此処ニーツ kārīzアリ。

81 硫酸カルシウム。

82 詳細は不明。

水深 0.24×巾 0.5×流 s 0.5=0.600 m³

Kashknakhod→Arghandāb—50km

ノ表札アリ、然シQandahārニアルモノト^{キロ}程ガ異ナル。

途中ゼララバッド（カンダハールへ 13 クローアリ）

サンギヒサール（カンダハールへ 5 クローアリ）

此ノ附近果物甚ダ良ク生育ス。

又地味モ良好ナリ。

kārīz モ所々ニアリ。

耕地モ相当アリ。

5 時 30 分 Qandahār ニ帰着ス。

池本様ノ家ニ帰ル。

池本様、藤芳様ト夜晩ク迄語り 1 時就寝ス。

1 月 21 日 (dalw 月 1) panj-shanbe (Qandahār)

午後ヌール氏、モハマッド・ユーソフ氏ノ処ニ復命書ノ相談ニ行ク。調査結果ニツイテ意見ヲ交換シ日曜日迄ニ復命書作製スルコトトセル。文書ハヌール、ユーソフ氏ガ作ル。観察地略図ハ自分ガ作ルコトトナレリ。

- ・ 彼等ノ意見中（自分ノ意見ト異ル処又ハ参考トナル処）

ギリシュクヨリシュマラン迄ノ広サ。

123 哩×1 哩 耕地 120,000 ゼリーブ位アリ（一年ニハ 60 ゼリーブ）

自分ハギリシュクヨリスルフドウヅ 60 哩×4 哩ノ 1/3 100,000 ゼリーブト見ル。

水カラ見テ 172 ゼリーブト見ル。

水量平均 0.2 m³/s ト見テ居ル。

- ・ 苜宿 1.5 セール（1 ゼリーブノ播種量）12 アフガニー
- ・ 麦ノ條播及ビニ毛作ハ不可能ト称ス。
- ・ 新組織ニヨル農業モ不可能ト称ス。

夕方、プシュトン会社ヘ乾果ヲ買ヒニ行ク。

Abjush ⁸³	1 箱（1 lb 入）	1af00
Keshmish-e sabz	〃	1af00
Keshmish-e siya	〃	0.60af
Shekar-e parre	〃	0.70af

⁸³ p. 304 参照。

Sherkat-e Pashtūn ハカランダハル市内ニアルモ工場ハ郊外ノ税関内ニアリ。小サイ一室ニ秤量器ト仕事台アルノミナリ。
1日ノ工程ヲ聞クニ一人デ 1500 箱位ヲ出[ス]ト云フ。
然シ一寸疑問デアル。

1月22日 (dalw 月 2日) jom'a (Qandahār)

今日ハ午前中話シ午後少シ仕事ヲスル。午後 Mr.Panzer 来ル。

1月23日 (dalw 月 3日) shanbe (Qandahār)

朝カラ旅行地域ノ地図ヲ書ク。
午後ニナリ、ヌール及ユーソフ両氏総督ノ処ニ行キタルコトヲ知ル。池本様、藤芳様総督ノ処ニ行カレル。
25日ニ総督ニ復命スルコトトナリ居リタルニ彼等丈デ先ニ行ッテ仕舞ッタ。
夕方サイドグルニ事情問ヒ合セニ行ク。彼等ハ只挨拶ニ行ッタノダト丈答ヘタ。
ヌール、ユーソフ両氏ハ明日カラ総督ニ着イテ「ボゴラ」ニ行クガ僕ニハ「カランダハール」ニ居残レト称シタ。
然ルニ藤芳様ノ通訳ハ僕モ行クノダト云ッタ。
何レガ正シイカ判ラヌガヌール氏ガ僕ヲダシ抜イテ総督ニ会ッタ処カラ推シテ或ハアル謀ミガアルカモ知レナイト云フ氣ガシタノデ兎[ニ]角行クコトニ腹ヲ決スル。
アフガン人ガ如何ニ功利心丈デ働イテ居ルカヲ知ルニ充分デアル。
コンナコトデハ当抵此ノ国ノ農業ノ発達ハ見込ガツカナイデアロウ。彼等ガ無教育者ナラトモカク仏蘭西デ教育サレタ此ノ国ノ最上級ノ農学者デ斯克ノ如クデアル。
夕方池本様、藤芳様ト三人デ独乙人パンサー氏ヲ訪問スル。
夜ハ2時迄復命書ノ概要ヲ考ヘテ簡条書ニシテ見ル。

1月24日 (dalw 月 4日) yak-shanbe (Qandahār→Gereshk→Mālgīr)

午前9時出発。
池本様、藤芳様、独乙人パンツ[ア]ー氏トーツノ車ニ乗ル。
総督ヨリモ一足先ニ出発スル。

Gereshk へ 2 時ニ到着。

我々外人ハ「ホテル」へ、アフガン人ハギリシユク政庁へ入ル。

総督一行ノ顔触レ。

総督ノ自動車： 総督自身ノ運転、モハマッド・ユーソフ（農学校長）、ヌール・モハマッド（技師）、総督ノ守役（ララジャン）、他ニ二人。

土木課長ノ車： 土木課長、自身ノ運転、藤芳様通訳、他ニ三人。

他ニ軍人ノ自動車： 将校二人ニ兵卒十人位。

昼食ハパラオガ出ル。

昼食後、池本様ノ水路へ視察ニ向フ。

6 時 Mālgīr ニ着ク。

我々外人ハ階下ニアフガン人ハ階上ニ席定マル。

夕食迄一同相話シ、別レテ夕食ヲ取ル。

僕ハ来ルコトニナツテ居ラナカタノデ、一行ガヘルマンドノ橋ニ着キ、始メテ皆ノ顔ガ会ツタ時、総督ハ僕ニ対シテ「君モ来タカ、疲レテ居ナカタカ」ト云ツタ。自分ノ癖カモ知レナイケレドモ、恐ラク「ヌール」又ハ「ユーソフ」ガ尾崎ハ疲レテ居ルカラ連レテ行カヌガ良イト云ツタモノト信ズル。彼等ハ極度ニ僕ヲ陥サントシテ居ル様デアル。

喧嘩ハ禁物デアリ、黙ツテ居レバ乗ゼラルル。日本人ニ執ツテ却々難シイ処デアル。

総督ハ Nahr Sarāj[デ]機械工作ヲナサントスル意向デアル。何台ノ機械ト何人ノ農夫ガ入用カ設計シロト云ハレタ。

1 月 25 日 (dalw 月 5 日) du-shanbe (Mālgīr→Qal‘eh-ye Nād ‘Alī→Bolān→Gereshk→Qal‘eh ガズ→Gereshk)

午前 9 時出発。砂漠ヲ超ヘテ旧ボゴラ水路ニ従ヒ Qal ‘eh-ye Nād ‘Alīニ 12 時着。

此処デ昼食、持参ノ「パン」ト卵ヲ一同デ食ベル。

皇族ト云ツテモ平民ト少シモ変リハナイ。此ノ点ハ此ノ国ノ美点デアルガ、一方下級官吏ガモ少シ考フベキデアロウ。ペルシャ語ニ敬語ガナイ故デモアロウガ全ク友達ト話スト同一ノ言葉デアル。

運転手デモ何ンデモ皆礼儀モ作法モナク前ニ進ミ出テ話シタリ、食ベタリスル。

茲デ用事ハ済ンダカラ外人丈ハ Qandahārニ帰ヘレ、自分ハ他ヘ廻ルトノ総督[ノ]言葉ニテ我々一行ハギリシユクニ帰リタルニ総督一行モ又ギリ

シュクニ帰り之レヨリ旧ボゴラ水路ノ上流ヲ見ニユクトノコトナリ。茶ヲ飲ミ又一行トナリテ3時出発。カラエガヅニ向フ。

総督ノ事ハ砂漠ヲ横断スル意向ナルガ如クムサカラ行キノ道ヲ執レリ。池本様ハ其ノ途ハ知ラヌトテ旧水路ニ副ッテ行クベク案内ヲセラレタリ。

途中道甚ダ悪シ。「ヌール」氏曰ク何故此ノ悪路ヲ選ベルヤ、何故砂漠ヲ行カヌヤト詰メ寄レリ。池本様ハ砂漠ハ途ガアルカナイカ知ラヌ。此ノ途丈シカ知ラヌト問ヘラレタリ。

ギリシュクノアケミ居リタルモ之レモ途ヲ知ラズ途ヲ知ッテ居ルモノハ池本様丈デアル。「ヌール」氏ハ恐ラク沙漠ハ平易ニ横断出来ルト考ヘタルナルベシ。二度バカリ総督ノ自動車ハ行き止ル。

4時半「カラエガヅ」着ク。之レヨリ約1時間[デ]水路ノ取り入レロニ至ル。

此処ニテパンヲ立食ヒスル。総督モ河ノ水ヲ飲ム。6時此処ヲ出発ス。来ル時ノ途ガ悪カッタ故カ沙漠横断ノコースヲ取ル。然ルニ10分位行ッテハ谷ニ突キ当リ

之レヲ上流ニ上ッテハ横断シタノデ、自動車ハ全ク方向ヲ取り違へ、ギリシュクトハ全然反対ノムサカラノ方ヘ北上シテシマッタ。遂ニ方向モ途モ失ヒ大キナ溪谷ニ突キ当リ行きモ帰りモ出来ナクナッタ。幸ヒ月夜デハアツタケレドモ薄曇デアッタノデ充分ノ見透ハ出来ナカッタ。行クコト3時間遂ニ大溪谷ニ突キ当リ沙漠横断モ不可能トナリ、此ノ谷ノ中ヲ下ルコトトナリ。途ヲ作り、或ハ兵ヲ斥候ニ出シテ苦心惨憺1時間位ニシテ元来タ途ノ中頃ニ辿リツク。11時ギリシュク着。

此レ故ニ始メカラ沙漠横断ハシナイガ良イノデアッタ。池本様ニ対シオ前ノ案内シタ途ハ悪イト地理ヲ知りモセヌ癖ニ悪口ヲ云フナド以ッテノ外デアル。

沙漠ニハ谷アリ山アリ、砂地アリ、湿地アリテ其ノ横断ハ地理ヲ充分知ッタ人デナケレバ当抵出来ナイコトデアル。アフガン人ガ砂漠ノ国ニ生レ育ッテ之レヲ知ラズ、一見平坦ニ見ヘルカラトテ砂漠横断ヲ主張スル等余リニ謀慮ノナイ国民デアル。砂漠探検デアリ、或ハ時間ニ余裕ノアル時ナラバ兎ニ角此ノ夕方ノ時間ノナイ時此ンナ無謀ナ企ヲスルナド此ノ国民ノ無智サガ充分ニ判ルト思フ。

又総督タル地位ニアルモノガ軽々ト途案内モナシニ不明ナ途ヲ選ブコトモ考フベキコトデアル。

然シ、総督ノ元気ナノニハ全ク感心スル。少シモ弱ラナイ。ズンズント進ンデ行クアノ気概ハ全ク嘉スベキモノデアル。

1月26日 (dalw 月 6日) se-shanbe (Gereshk→Qandahār)

午前8時起床。
11時 Qandahār ニ向フ。
2時カンダハル帰着ス。
一月振りニ初メテ湯ヲ使ヒテ体ヲ拭フ。

1月27日 (dalw 月 7日) chār-shanbe (Qandahār)

小雨アリ。今日復命書ヲ書イタリ休息シタリスル。

1月28日 (dalw 月 8日) panj-shanbe (Qandahār)

小日和午前中洗濯ヲスル。
復命書ヲ書ク。
午後ヨリ夜ニ入り雨アリ。

1月29日 (dalw 月 9日) jom'a (Qandahār)

復命書ヲ書ク。

1月30日 (dalw 月 10日) shanbe (Qandahār)

午前中連名デ出ス復命書ニツケル地図ヲ以テ「ユーソフ」氏ノ所ヲ尋ネル。ヌール氏ハ不在。「ユーソフ」氏ハ復命書ヲ書キツツアリタリ。
午後Arghandābニ行ク。Arghandāb川ヲハサンデ兩岸ニハ驚クニ足ルホド部落發達シ、美シキ果樹林アリ。杏、ザクロ、バダム⁸⁴、イチジクヲ認ム。葡萄ハ見当ラズ。落葉樹ノミナリ。ザクロ植付 10 尺四方ニアゼヲ作り、其ノ中ニ 6 尺×6 尺ノ株間ニ 4 本植。檜類 10 本位ノ林アリタリ(サクラ?) 此々ニハ名高キ「ジアラト⁸⁵」アリ。ジアラテババート称ス。帰りニカンダハールノ近クニテ葡萄園ヲ見ル。

溝ニ植付スル。溝巾 2 尺、畝巾 6 尺

溝ノ深サ 1 尺 5 寸、株間 1 尺 5 寸。溝ハ東西ニ掘リ、葡萄ハ溝ノ南側

⁸⁴ アーモンドのこと。

⁸⁵ 聖廟のこと。

ニ植、畝ノ日蔭トナル様ニ植付。



秋ノ剪定ラシク見ユ。

割合ニ良ク剪定セラレタリ。主枝ハ2—3本ノ
高サ1尺位ノ株仕立ナリ。

1月31日 (dalw 月 11日) yak-shanbe (Qandahār)

午前11時ユーソフ、ヌール両氏ヲ尋ネ同道ニテ総督ヲ訪ヒ復命書ヲ提出ス。

復命書ハ一部ハユーソフ、ヌール氏ト連名、一部ハ英文ニテ自分一個ノモノナリ。

12時半退出ス。

2月1日 (dalw 月 12日) du-shanbe (Qandahār)

一日中家ニアリ。

2月2日 (dalw 月 13日) se-shanbe (Qandahār)

市ノ附近ヲ見テ歩ク。

蔬菜——チシャ、ホーレンソウ、ガンダナ⁸⁶、タラテザー⁸⁷、青茎玉葱アリ。

八百屋ニハ以上ノ外大根、人参、玉葱アリ。

果物——

林檎 株間4米×4米。

8米×4米、広サ毎ニ畦ヲ作り其ノ中ニ二本植トスル。
剪定ハ行ハレズ。

杏 株間10尺×10尺、一畑ノ中ニ四本植。今中耕ヲ行フ。

此ノ地方ハ果物ト蔬菜ハ別々ニ栽培ス。

タンポポ 花盛ナリ。猫柳ガ花盛ナリ。

麦ハ今頃5寸位ニ伸タモノアリ。之レヲ *hasīl-e gandom* ト称シ、今頃之レヲ刈リ取りテ家畜ノ飼料トシ更ニ発芽サセテ子実ヲ収穫スル。

⁸⁶ ニラのこと。(アーセフィ)

⁸⁷ アブラナ科の植物のこと。

今木ヲ植ヘル。二米位ノ枝ヲ街路ニ穴ヲ堀リ挿木シツツアリ。

2月3日 (dalw 月 14日) **chār-shanbe** (Qandahār)

一日中家ニアリ。

2月4日 (dalw 月 15日) **panj-shanbe** (Qandahār)

鈴子ニ電報スル。宛名ヲ入レテ十文字ニテ 3 af 5 pul ナリ。
ヌール、ユーソフ氏ヲ尋ネタルモ不在。

2月5日 (dalw 月 16日) **jom'a** (Qandahār)

一日家ニアリ。

2月6日 (dalw 月 17日) **shanbe** (Qandahār)

愈々カブールニ向ケ帰ルコトトナリ、ヌール、ユーソフ氏ト共ニ総督及
土木課長ニ挨拶ニ行ク。

午後出発ノ予定ナリシモ自動車ノ準備出来ズ、遂ニ出発不能トナレリ。
ブリキノトランクヲ買フ、20 afghani ナリ。

土木課長ノ名 土木課長 Mudīr-e Mo'aber

Mohammad Asghar Khān

農務課長 (Mudīr-e Zerā'at) ノ名

Masjedī Khān

シルカッテ・ワタン (Sherkat-e Watan) ノ社長

Gholā Fārūq Khān

2月7日 (dalw 月 18日) **yak-shanbe** (Qandahār→Kalāt→Pāyīn-e Shā-jūy)

8日 (dalw 月 19日) **du-shanbe** →Kalāt

カブール門ハ近くニ立札アリ。

カンダハール—ジャルダック

Qandahār—Jaldak

110.291km⁸⁸

ジャルダック—カラート

Jaldak—Kalāt

25.609km.

⁸⁸ マイルから換算した結果か。

カラートーシャジョイ	Kalāt—Shā-jūy	72.0km
シャジョイーカンドプッシュ	Shā-jūy—Kand-Push	21.651km
カンドプッシューモコール	Kand-Push—Moqor.	37.352km
モコールーガヅニー	Moqor—Ghaznī	117.0km.
ガヅニーーシェアハバッド	Ghaznī—Sheykh-ābād	—
シェアハバッドーチョッキアルガンデー	Sheykh-ābād—Chūkī Arghande	—
チョッキアルガンデーーカブール	Chūkī Arghande—Kābur	—

午前 10 時 30 分長イカンドハールノ旅ヲ了ヘテ立発ス。池本様ヨリ柘榴ヲオ土産ニ頂ク。

自動車ハ総督ヨリ与ヘラレタル貸リ切りノ 1 噸半^{トシ}ノ貨物車ナリ。例ノ二人ハ例ノ通り運転台ニ席ヲ取ル。荷物ト共ニ僕、サイドグル、例ノ二人ノ人ノ boy 二人ガ後ニ座ル。外ニ一人相客アリ。如何ナル人デ何処ヘ行くノカ知ラズ。

愈々自動車ガ動き出ス。然ルニカブールノ途ヲ取ラズ、横道ニ入レリ。如何ナルコトナリヤト思ヒシ処税関ノ後方ニテ停車。一同下車名前ヲ尋ネラレー人ニツキ 1 アフガニーノ課税ヲセラル。如何ナル理由ナルヤ充分知ルヲ得ザリシモカンドハールヨリカブールニ行クモノハカンドハールヲ出ル時皆 1 アフガニーヲ支払[フ]義務アル由ナリ。通行税、或ハ出市税ナルベシ。

此処ヲ出発シテ、二分ニテカンドハール市ノ出口ニ来ル。此処ニテ税金支払ノ受取ヲ徴シ荷物ヲ調べル。

此レニテ煩サイコトモ皆済ンデ途モ良ク 2 時 40 分ジャルダーク (Jaldak) ヲ通過、3 時 30 分カラート (Kalāt) 着。カラートニテ茶ヲ喫シ 4 時出発。今夜ハシャジョイ (Shā-jūy) 泊リノ予定ナリ。カラートヲ去ルニ從ヒ途悪ク左右ノ山ニ次第ニ多ク雪ヲ見ルニ至ル。

行くコト 1 時間半前方ニ自動車停止セルヲ見ル。近寄り見ルニ泥濘ノ中ニ没セリ。道ヲ妨ギテ前進スルヲ得ズ。

止ムヲ得ズ自動車ヲ下リ民家ニ泊ルベク民家ヲ探スコトニセリ。1 キロ半ニテ民家アリトノコトナレバ一行勇躍行進セルニ小暗次第ニ加リ 4 哩位行クモ遂ニ民家見当ラズ、只犬ノ遠吠

聞ユルノミナリ。仕方ナク又自動車ニ泊ルベク引き帰ヘス。

途中懐中電燈ノ光ラシキモノヲ見ル。声ヲカケタルモ返事ナシ。空腹、渴ヲ覚ユルコトシキリナリ。僅カニザクロ一ケヲ食ベ疲レタル足ヲ引き引キ 8 時半自動車ニ引き返ス。

夕食モ蒲団モナク外套ヲ被ッテ寝ニ就ク。

夜ノ進ムニ従ヒ寒冷加ハル。上半身ハ外套アリテ暖カリシモ足ノ冷キコト此ノ上ナシ。殆ンド眠ラズ。然カモ夜半ヨリ冷雨加ハレリ。大勢ノAfghan 人ト雑魚寝ナレバ蚤ノ取りツキタルニハ閉口セリ。

6 時頃一同起キ出デ進行スルヤ否ヲ評議。

前車ハ堀出ヲ始メタリ。幸[ヒ]石アリタルヲ以テ之レヲ敷イテ前進スルコトニシ石ヲ敷キテ途ヲ作レリ。

前車モ 9 時頃愈々脱出セリ。我々モ途出来上リ前進ヲ開始セルモ遂ニ進マズ。前車ニ大勢ノ人アリ。後押ヲ以来[依頼]セルモ肯ゼズ。致方ナク一旦 Kalāt ニ引キ返スコトニ決セリ。雨次第ニ激シクナル。

カラートへ返ス途中一台ノ自動車来レリ。

此ノ自動車ハ兎[ニ]角行ケル処迄行クトテ進行セリ。(夕方電話ニヨレバ我々ノ引キ返シタル処ニテ自動車破損セル由ナリ。)

12 時前ニカラートニ着キHotelニ入ル。

昼食後夕方迄寢床ニ入ル。

此ノHotelハギリシユクノモノヨリ良好ナリ。室 6—7 室アリ。家具モ可成[リ]立派ナリ。

夕方雨止ム。

此ノ分ナラバ明日一日天気ヲ保テバ翌日ハ進ミ得ベシ。

2 月 9 日 (dalw 月 20 日) se-shanbe (Kalāt)

今日ハ上天気ナリ。然シ途ハ未ダ充分ナラザルガ如シ。

一日中ホテルニ居ル。復命書ヲ書イタリ、英語ヲ勉強シタリスル。

2 月 10 日 (dalw 月 21 日) chār-shanbe (Kalāt)

今日ハ朝ヨリ上天気ナリ。出発スルモノト思ヒシニ出発セズ。カプールのヨリ 2 台ノ自動車着ク。カンドハルヨリ 4 台モコールニ向ケ通過ス。然レドモヌール氏ハモコールニ到着シタル自動車ナシトテ出発ヲ肯ンゼズ。午後、ホテルハ高価ナリトテアフガンノ宿ニ移ル。僕ニハ甚ダ苦勞ナリ。彼等ハシキリニカンドハールニ帰り印度廻⁸⁹ヲ主張ス。然シ自分ハ賛成セズ。

2 月 10 日夜中ヨリ (Kalāt→Moqor→)

2 月 11 日 (dalw 月 22 日) panj-shanbe (Moqor→Bāzay)

⁸⁹ クエッタ～ペシャワールかと思われる。

兎ニ角寝ニ付クコトトナリ 7 時半就寝ス。寝台ヲ拵ゲテモ早朝寒[ヒ]ノガ嫌ナノデ土間ニ蒲団ヲ敷イテネル。床ニ入ルト体ノ中ヲ何ダカゴソゴソスル。蚤カ或ハ蝨デハナイカト思ハレル。二月ニ近イ間着ミ着ノ儘デアルカラ不潔ナコトコノ上ナシデアル。

一寸マドロミ掛ケタ頃**カンダハル**ヨリ自動車来リテ**モコール**ニ行クト云フ。之ノ運転手ハ我々ヲ**ギリシュク**ヲ[デ]乗セテ歩イタ人デアル。途モ凍ッテ居ルカラ是非行クト云フノデー同出発スベク荷物ヲ纏メル。然シヌール、ユーソフ氏ハ前車ガ**モコール**ニ着タ知ラセガナイカラ立テスト躊躇スルコト久シカリシモ漸ク説ヒテ 10 時出発。

シャジョイノ近[ク]カラ雪トナリタルモ途ハ全ク凍リテ午前 3 時半無事**モコール**ニ付ク。宿ハ皆戸ヲ閉ス。

此処ニテ宿ヲ起シタルモ却々起キ出デズ漸クニシテ一軒ヲ起シ茶ヲノミ火ニ当リ 8 時迄休憩ス。

此処ニハ**カンダハル**カラノ自動車全部停滞セリ。**カプール**カラ来タモノ等ヲ合セルト 10 台アリ。

今朝ハ郵便車ヲ先陣ニ我々が第二陣。**ギリシュク**ヲ引キ廻^{カエ}シテ来レリ自動車ガ第三陣ヲ承ッテ 8 時半**モコール**ヲ出発ス。

雪ハ 50cm 位アリ。日ノ昇ルニ従ヒ途悪ク 1 時間位ノ処**バザイ** (Bāzay) ニテ郵便車ハ泥中ニ没ス。一行遂ニ前進ヲ中止スルノ止ムナキニ至リ、人家ニ入り休憩ス。

初メ「**マスジッド**⁹⁰」ニ休ミタルモ後カラ後カラト自動車ガ到着シ仮宿ヲ求メテ集マルモノ 50 名近クナル。

一行ノ中ニ軍人アリ、外人ニハ気毒ナルベシトテ民家ヲ斡旋シテ呉レル。**アフガン**人ハ斯ウシタ親切ハ多分ニ持ち合セテ居ル。洵ニ快イ親切デアル。然シ一方ニハ洵ニ残忍ナ性質ヲ持つテ居ル。此ノ軍人ハ郵便車ニ乗り合セテ居ッタ軍人デアル。此ノ郵便車ガ泥中ニ没シタ時ニ人夫ヲ徴發シタガ誰モ来ナカッタラシイ。其レヲ憤慨シテ**マスジッド**内ニ居ッター人ノ老人ニ理由ヲ聞イタ処其ノ老人ガ口答ヲシタ処「政府ノ車ダ、ソレヲ援助シナイノハ不都合ダ」トシテ部下ノ兵ヲ呼び老人ヲ拘引シ鞭打ノ刑ニシロト命ジタ。

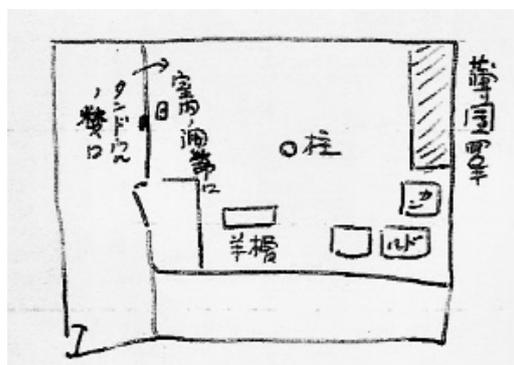
公衆ノ中デノ罵リデアル。此ノ国ノ人ニハコウシタ極端ニ相反シタ性質ガ沢山ニアル。**ムッスルマン**⁹¹ハ嘘ヲ言ハナイ、喧嘩ヲシナイト互ニ口デ謂ヒナガラ嘘ヲ云ヒ喧嘩ヲスル。之レハ常ニ市中デ見ルコトデアル。

⁹⁰ モスクのこと。

⁹¹ イスラーム教徒のこと。

マスジッドカラ移ッタ民家ハ新築ノ一間家デアッタ。二重ノ戸ニナッテ居リ室中ニオンドル（タンドゥルtanūr）⁹²ヲ引イテアリ、又羊トモ同居デアル。室ノ一方ニハ麦、トウモロコシ等ヲ貯蔵スルカンドル⁹³（kandū）ト称スルモノアリ。土デ作ッタ角筒デアル。下ニハ電気ノ篋子[?]ノ如キ脚ヲツケテオル。

壁ニハ各所ニ半円形ノ窪ミヲ作り置物棚トスル。之レニ燈心ノ明ヲ点ジテターバンヲ巻イタ男ガ立ッテ居ル処ハ何トナク宗教的ナ崇敬サヲ感ズルト共ニ世界カラ取り残サレタ淋シイ或ハ原始的ナ粗野ナ感じガスル。



寝具ハ自動車ニ遺シテ来タノデ此ノ家ノ蒲団ヲ足ニカケ肩ニハ外套ヲ被ブッテ寝ル。

2月12日 (dalw 月 23日) jom'a (Bāzay→Ghaznī)

午前1時半起床。

約2哩先ニ残シタ自動車ニ至ル。然シ運転手未ダ来ラズ。又宿ニ帰リテ運転手ヲ探ス。昨夜ノ打合ガ充分ナラザリシモノノ如シ。運転手ノ家ヲ探スモ判明セズ。又自動車ニ戻リ助手ヲ探シテ漸ク家ヲツキトメ4時漸ク出発ス。二台ノ自動車2時出発ス。

行クコト1時間先発ノ二台ノ自動車泥中ニ落ちテ引キ上ゲニ困難シツツアリ。道ハ雪ト泥中ニ落ちタ自動車ニ塞ガレテ前進デキズ。除雪作業ヲスルコト2時間ニシテ通路ヲ作り6時出発ス。此ノ間ニヌール氏ハ泥中ニ落ちタ自動車引上ゲノ音頭ヲ取り成功ス。斯ウシタコトハ甚ダ器用デアル。

途中途甚ダ悪シ。雪モ1尺—2尺アリ。

⁹² オンドルは、床下暖房のことであり、タンドゥールは、一般にパン焼き竈のこと。

⁹³ 穀物を貯蔵しておく大型の容器のこと。

行クコト 2 時間ニシテ自動車スリップシテ雪ノ中ニ突キ込ム。之レヲ引キ上ゲルタメ土ヲ掘ツタリ、車ヲ押シタリスルコト 1 時間半、9 時半ニ出發ス。日モ次第ニ高マリ凍リモ解ケ始メテ道モ愈々悪シ。然シ土質次第ニ良クナリ砂土トナリタルタメ割合ニ樂ニ進行シテ 11 時半ムシャキニ到着ス。此処ニテ茶トパンヲ濟シ 1 時ガズニーニ着ク。昼食後バザーヲ歩ク。

宿ハ自動車ノサライ (宿場) ノ二階ニ決スル。

敷物ヲ二枚ヲ借リル。

サイドグルノ弟ト其ノ友達ガガズニーノ兵士ナノデ之レモ宿ニ泊リニ來ル。夕食モ一緒ニトル。

町デ羊毛ノ外套 2 枚 (一枚 75 アフガニー) トチョッキ一枚 (12.5 アフガニー)、陽チャンノチョッキ 7.50 af 一枚ヲ買フ。

夕方郵便車及他ノ二ツノ自動車來ル。

夕方 10 時頃寝ニ就クヤサライノ主人及ユーソフ氏、ヌール氏ノボーイ來リ外人ハホテル以外ニハ宿泊ヲ禁ゼラレタリ。政府ノホテルニ移宿スベシト知事ヨリノ命令ナル旨傳達シ來ル。各所ヲ二月ニ亘ッテ廻リ未ダ嘗テ斯ルコトヲ謂ハレタルコトナシ。各所トモ自由ニ民家ニ泊レリ。

既ニ床ヲ伸ベ寝ニ就ケルモノヲ今更移宿モ大變ナルヲ以テ助手ヲ知事ニ使シテ理由ヲ聞カシメタルモ知事面接セズ移宿ヲ強制セリ。11 時ホテルニ移ル。早朝出發ニ際シ宿料ヲ請求ス。知事ノ強制命令デアルコト、政府ノ命ニヨル旅行デアルコトニヨリ宿料支払ヲ拒絶セルモ応ゼズ。宿料ヲ強要ス。知事ニ電話シロト命ズルモ電話セズ。

結局知事ガホテル収入ヲ上ゲントスル手段タリシニ過ギザリシモノト思フ。

2 月 13 日 (dalw 月 24 日) shanbe (Ghaznī→Kābur)

午前 5 時ガズニーヲ出發ス。

途中シャシガウ、スルタンヘル、サイドアバッド等雪ノ 1 米位アルモ砂土ナルタメ道良ク 12 時バラキバラックニ着ク。

此ノ辺ハ雪少シ。チッキアルガンデーハ通行困難ナルタメロガールニ廻ル。

昼食後直チニ出發 6 時カプールニ帰着ス。

タハタプルニテ一行ニ別レテ家ニ入ル。

2月16日 (dalw 月 27日)

復命書ヲ商務省ニ提出

2月27日 (hūt 月 9日)

三名連名ノ復命書ヲ商務省ニ提出ス。

概 要

1936年12月27日 Kabul 発 }
1937年2月13日 Kabul 帰着 } 49日。

1月4日 }
1月20日 } Pusht-i-Rud ノ調査。

Nahār Boghrā 420,000 jarib 内 300,000 jarib 耕地

流水量 27 m³/s

Nahār Sarāj 160,000 jarib

12.29	運転手	5.00
x	助手外出	10.00
x	助手食費	5.00
x	買物 茶	5.00
1.3	砂・茶	8.00
1.5	食費	6.00
1.7	宿費	4.00
9	アイナック食物	3.00
10	ギリシュク買物	
	油	0.90
	ザクロ	1.30
	オ茶	0.50
	カシ	1.00
12	宿料	6.00
15	昼食	2.50
16	スイカ	1.00
16	カシ	1.50
17	宿料	10.00
19	カシ等	2.60
	オ茶	1.50
20	宿料	10.00
20	自・運	10.00
21	ボストン	10.00
21	ブドウ	26.50
21	助手	10.00
21	カシ、鍋等	7.00
x	ボストン	10.00
x	タジャー	10.00
x	助手	10.00
x	アルガンダブ行車賃	5.00
x	<u>ブリキトランク</u>	20.00
2.6	カシ (ビスケット)	18.00
2.6	アジズ・アマッドへ	25.00
2.6	食物 (旅行用)	5.00
7	茶	2.50
8	パン	1.00

	カシ	1.00
	石油	0.50
9	昼メシ	12.00
	バダム	2.00
	キシミッシ	0.50
10	ホテル払	32.00
	ホテルチップ	2.00

カンダハル紀行

第二回

[1937.6.13~1937.6.28]

[1937年]

6月13日 (jauzā 月 23日) yak-shanbe

午後印東⁹⁴様ヨリ用事アル故来テ呉レトノ迎アリ。参上セルニ農学校長モハマッド・ユーソフ氏ト対談中ナリ。用向ヲ伺フニ文務大臣ヨリ校長ニ対シ印東カ又ハ尾崎ノ何レカー人ト一緒ニカンドハルニ行キ棉ニ病虫害発生シタル由ナレバ調査ニ行クベシトノ命ナリ誰レカ行ッテ呉レトノ事ナリ。

良キ機会ナレバ印東様ニ奨メタルモ体ノ具合ガ悪イカラ行ケヌト申サル。自分モボブール、ビニヒサールノ畑ニ大事ナ仕事ヲ持ッテ居ルノデ行クコトヲ断ル。

6月14日 (jauzā 月 24日) du-shanbe

午後校長来ラレ僕ニ一緒ニ行ケト総理大臣ノ命令ナリト告ゲラル。又丁度商務省ヨリモ明15日午前8時出頭スベシトノ命令来ル。

6月15日 (jauzā 月 25日) se-shanbe

午前8時商務省ニ出頭、大臣ヨリ総理大臣ノ命ナレバカンドハルニ調査ニ行クベシト命ゼラル。文務省ニ行キ文務次官[ニ]会ヒ午後3時出発ト決定ス。農学校長ト同道ナリ。

ボブール、ビニヒサールノ仕事ヲ助手ニ言ヒ付ケ、荷物ノ準備等大忙デアアル。

良イ機会ナノデ鈴子モ一緒ニ行ク。

此ノ度ノ旅行デ意ニ解セラレヌコトガアル、ソレハ

1. 棉ノ栽培ハ商務省ノ仕事デアアル。ソレヲ何故ニ文務省ガ関係シテ商務省ハ単ナルオブザーバーニ過ナイノカ。
2. 非常ニ急ニ出発ヲ迫ルノハ何故カ。之レハ皇族ノ命ナル故カトモ考ヘラル。
3. 総理大臣ヤ皇族ノ命令デアレバ他ノ仕事ハドンナニナッテモ良イ。少シモ他ヲ省ミナイコト

⁹⁴ 印東秀氏、農林省農政課 (当時)。

商務大臣ノ如キ地位ノ人デモ御無理御尤デ如何ナル命令ニモ服シテ居ル。僕ノボブール、ビニヒサールノ仕事モ恐ラク半端ニナルデアロー。

- ・ 午後4時ニナルモ自動車来ラズ。4時半頃校長来リ、「今日ハ車ノ準備出来ズ。明日朝4時ニ出発」ト告ゲラル。

6月16日 (jauzā 月 26) chār-shanbe

午前3時起床、自動車ノ来ルヲ待ツ。出発予定ノ4時ハ勿論5時6時モトックニ過ギ遂ニ9時漸ク来ル。

相変ラズ当ニナラヌアフガンノ約束デアアル。

農学校長モハマッド・ユーソフ氏ト其ノ従者、僕ニ鈴子ノ四人ノ旅ナリ。

途中二回ノパンクヲシテ3時ニガズニー着。

1時間昼食ヲナシ4時出発。

7時ニモコールニ着ク。

ガズニーヲ少シ立ッタ処ハ小麦稍々黄クナレル。他ハ未ダ青シ。

モコールニ近ク目下メロン類一寸位ノ大サナリ。此ノ辺ハ平地ニ一寸位ノ鞍ヲ築キテメロンヲ作レリ。サンザシノ木アリ。

途中岩ノ上ニ多数ノトカゲヲ見ル。

「サイドアバッド」ト「チョッキアルガンデー」トノ間デ近藤⁹⁵様ノ自動車ニ会フ。

6月17日 (jauzā 月 27日) panj-shanbe

小麦ノ粉介殻虫。カラートニ入ル1時間位モコール依リノ川辺ノ小麦畑。

蚜虫⁹⁶ト一緒ニ居ル。

穂ノアル処ノ葉鞘ノ中部ニ居リタリ。

小麦ノ蚜虫。

小麦ノ一潜蠅。葉鞘ノ間ニアリ内面ノ肉質ヲ食ス。

小麦ノスリップス⁹⁷

淡白色ノ縞ガ葉ニ出来ル。主トシテ穂ト葉鞘トノ間ニアリ。

子実ノ^{ホサキ}穎ノ間ニモ食ヒ入ル (色赤)。

カゲロウ

⁹⁵ 近藤正造氏のこと。『アフガン記』(1943年刊)の著者。

⁹⁶ アブラムシのこと。

⁹⁷ アザミなどに付く黒いシミ

幼虫ハスリップスヲ食ベル。

椿象^{カメムシ}⁹⁸、緑色
黒色

午前6時モコール出発。

カンダハールニ近ヅクニ従ヒ麦ハ黄クナリ、処々ニテハ既ニ刈り取り調製中ノモノアリ。

2回パンクスル。

11時カラート着。

午後4時出発。途中1回パンク午後8時カンダハール着。

6月18日 (jauzā 月 28日) jom'a

一日休憩ス。

6月19日 (jauzā 月 29日) shanbe

午前11時総督 (ダウッド・ハーン) ニ面接ス。

棉ノ害虫トシテ見セラレタルモノハ根切虫ナリ。炭疽病モアルノデハナイカト思ハレル。

棉ノ種実ヲ取寄セテ切断シテ見ルコトニ話シスル。

未ダ何処ヘ行クノカ不明ナリ。

6月20日 (jauzā 月 30日) yak-shanbe

行ク先ノ通知ナシ。総督ニ9時半出頭ス。丁度校長ト総督トガ登庁ス。直チニ附近ノ棉畑ヲ見ニ行ク。

棉

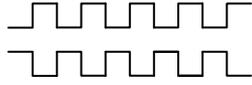
作り方。

畦1米、溝1米ノモノ。

畦2.5米、溝2米ノモノ。

畦ヲ長ク作レルモノ (日本式ニ) 或ハ

⁹⁸ カメムシのこと。



ノ如キアフガン式ノモノアリ。

畦ノ両側ニ点播ス。3粒—5粒位ナリ。

株間2—3寸 乃至 5—6寸ナリ。

間引ヲナサズ。

播種後1ヶ月半位ナリ。

草丈 30cm 位ナリ。

既ニ蕾ヲ生ズ。

病害蟲ノ採集ヲナス。

夕方9時夜間採集ヲナス。

2尺 (1畦=1.5位ノ溝) ニ2條ノ点播ナリ。

葉ハ3ツノ葉刻アルモ1カラ丸葉ノモノ迄ノモノデ[]種固定セリト云フヲ得ズ。

葉柄及莖ハ赤色ナリ。8寸—1尺位ニノビル。

蟲

ダニ。

蚜虫。

ズイムシ 螟ノ幼虫。

テントウムシ。

夜蛾。

6月22日 (saratān 月 1日) se-shanbe

午前7時出発帰途ニ着ク。

途中3回パンクスル。余リノ暑サニトウトウ床ニツク。

6月23日 (saratān 月 2日) chār-shanbe

今日ハカプールニ帰ヘル挨拶ニ10時総督ノ処ヘ行ク予定ナリシモ、下痢ト頭痛デ床ニツク。

午後4時少シ具合モ良クナッタノデ挨拶ニ行ク。此ノ度ノ病氣ハ恐ラク

日射病ナルベシ。
簡単ナ報告書ヲ提出ス。

6月24日 (saratān 月 3日) panj-shanbe

午前3時出発帰途ニツク。正午モコール着。一泊。

6月25日 (saratān 月 4日) jom'a

午前7時出発、1時間位ノ処ニテ自動車破レ民家ニ入ル。大勢ノ人々集
ラレテウルサシ。

正午ローリーヲ見付ケテ出発。**ガズニー**近クニテ又此ノローリー破レ他
ノローリーヲツカマエテ夕方7時**ガズニー**ニ着ク。此ノ間ハ普通3時間
行程ナルモ今日ハ12時間ヲ要セリ。

6月26日 (saratān 月 5日) shanbe

朝8時出発、12時カブール着ス。

6月28日 (saratān 月 7日) du-shanbe

商務省ニ挨拶ニ行ク。
復命書ノ写シヲ提出ス。

Kābul ヨリ Qandahār マデ

公使館 News ヨリ。1937 年 11.初 (Mr. Hamid ガ Kabul Year Book ヨリ調査)

- ・カブール、カンダハル間ノ道ハアフガン中デ第三位ノ高所ヲ通ル途デアル。
(第一位 ペシャワール・カブール間、第二位 カブール・マザリシャリップ間
即チシカリー道)

- ・カブール・カンダハル間地名

Qala-i-gazi

Chaowki Arghandeh

Maidan

Dusht-i-Toap

Shaikh Abad

Takiya

Shash Gao

Ghazni

Nani

Mushaki

Koh-i-Ahan

Oba

Mugur

Shah Joy

Shebar

Tazi

Sar-I Asp

Qalat

Jigdalik. Jildak

Tirandaz

Shar-i-Safa

Mohmand

Kandhar

- ・Deh Mazang Passport 及旅客ノ検査ヲナス。
- ・Chaowki Arghandeh 小税関アリ。
- ・Kotal-i-Takhat Qala, Durrani ヲ通過ス。
- ・Maidan ハ Lohgar 管下。
- ・Shash Gao ヲ過ギタ頃カラ Ghazni 王朝ノ遺跡アリ。

- ・ Ghazni 標高 2377 feet.
- ・ Qalat-Mogur Tazi 犬ノ産地。
- ・ Shilger Desert ガズニー過ギテカラノ砂漠。
- ・ Koh-i-Ahan 鉄鉱アリ。
- ・ Rubat-i-Aghojan モコールノ次ニ来ル町デ
Kabul Province ノ最後ノ都会デアル。
- ・ Shar-i-Safa 古都。一世紀前迄ハ金ヲ沢山持ッテ居ッタ。
- ・ Kandahar 標高 1,040 feet
此ノ町ハ Ahemad Shah ニヨリテ建テラレタ。
Mohammad ノ聖衣アリ。之レハブハラヨリ Ahemad
Sha[h]ニヨリカンドハールニ持ち来タラレタルモノナリ。
Durrani 王朝ノ誕生地ナリ。1160 年（今ヨリ
276 年前）ニ此ノ市ハ立テラレタ。
Mir Vais Khan ノ墓ハ Kakharan ニアリ。
- ・ Takhta Pul
カンドハールヨリベルチスタンニ出ル処デカンドハールヨリ
56 km アリ。税関アリ。
- ・ Kadani=Qala-i-Jadid
国境ノ最後ノ町ナリ。Passport ノ検査。タハタプルヨリ
54 km。

距 離

Kabul - Ghazni	145 km
Ghazni – Qalat	310 km
Qalat – Kandhar	145 km
Kandhar – Qala-i-Jadid	110 km

ورقه رسيد تکرار في دولت يادشاهي فغانستان

محصول	تعداد الفاظ	مرسل اليه ووضع ارسال	نوع	اسم موقع	مبلغ	ملاحظات
۳	۵	۱۰	۱۹	افغانی	۱۰	از بابت يکقطعه تکرار []
						مبلغ [] افغانی و [] بارج [] دلو [] ۱۳۱۵



اداره پست و تکرار

تلفون

نوت - شکایات را جمع به تکرار مهند
با ستند ۱۰ این ورقه قابل جمع شده نمی تواند

محل امضاء